

平成29年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

平成29年度 事業報告

はじめに	1
1 事業報告	5
《目黒区文化ホール》	5
自主事業	5
受託事業	4 6
《目黒区美術館》	5 5
自主事業	5 5
受託事業	6 7
その他事業	7 3
2 処務の概要	
重要な契約の概要	8 1
財団運営会議開催状況	8 1
理事会・評議員会開催状況	8 2
評議員・理事・監事名簿	8 3

はじめに

平成29年度は、公益財団法人へ移行後7年目となり、平成26年度を初年度とする目黒区文化ホール(以下「文化ホール」という。)及び目黒区美術館(以下「美術館」という。)の指定管理も4年が経過いたしました。

加えて29年度は、美術館、文化ホールともそれぞれ開館以来の節目となる30周年、15周年の記念すべき年となり、区の補助金のみならず、他団体助成金、賛助金などの財団の自主財源も活用しながら記念の事業を展開し、区民はもとより、多くの利用者の来場を仰ぐことが出来ました。併せて、地域の芸術文化活動の深化と充実にも寄与し、目黒区の目指す「文化縁」の形成が着実に次代へ受け継がれ、豊かなコミュニティ形成にも貢献することができたのではないかと考えております。

また、29年6月には、芸術文化振興の基本法ともいえるべき、改正文化芸術基本法が施行されました。文化芸術の振興にとどまらず、まちづくりや観光など文化芸術により生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展などに活用しようというものであり、28年3月の「めぐろ芸術文化振興プラン」にもその趣旨が活かされております。

財団としても、この芸術文化振興プランを具体化すべく、二つの文化の拠点を核に、芸術文化活動の充実強化と効率的な財団経営との両立に努めてまいりました。

1. 文化ホール

29年度は、自主事業を40事業、区からの受託事業2事業、指定管理事業1事業を実施し、例年と同規模の事業展開をすることができました。

併せて、文化ホール開館15周年を迎え、区補助金を充てて周年事業を催し、区民はじめ多くの方々にこれまでの活動への感謝の意を伝えるとともに、更なる発展を目指す契機としました。

自主事業のうち鑑賞事業は、財団自らの財源を充てた主催事業のほか共催事業を活用しながら区民に良質な公演の鑑賞機会を提供し、各年代層の要望に沿いつつ、公演ジャンルが偏らないことなど、年代の枠を超えた集客を目指しながら事業を実施しました。主な主催事業は、周年事業として開館15周年記念コンサートや文楽公演を実施しました。その他の事業としては、新進気鋭のアーティストをソ

リストに迎えた「フレッシュ名曲コンサート」や、「日本パステル畫事始め」展との連携事業としてフルート奏者による「ミュージアムコンサート」を美術館で実施しました。

地域の芸術文化・支援事業は、豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して、地域に根差した事業の展開を図りました。主な主催事業は、開館15周年事業として、新進気鋭の演奏家による「未来の音ガラコンサート」、区の補助金を充てた「避難訓練コンサート」や、宮城県気仙沼市の復興支援を目的に「東日本大震災復興支援コンサート」と関連イベントを行いました。さらに地域で優れた芸術文化活動を行う団体への支援の一つとして当財団との共催で事業を進めました。

学習・練習事業は、「ワークショップ」と「アウトリーチプログラム」の2つの事業を行いました。「ワークショップ」事業は、中高生を対象にした「演劇」と小中高生を対象にした「ダンス」を行い、実演芸術に親しみ楽しむ機会を提供しました。また大人のための「ワークショップ」は「演劇」を通じた“表現する機会”を提供することができました。「アウトリーチプログラム」事業は、区立小中学校の児童・生徒に豊かな情操を身に付けていく機会となりました。その他、引き続き、東京医療センター、区立特別養護老人ホーム3施設、区心身障害者センター、ひがしやま幼稚園、みどりがおかこども園を訪問するとともに、げっこうはらこども園でも初めて事業を実施いたしました。

受託事業は、「目黒区文化祭」や「めぐろオータムアート」の2事業を実施しました。

指定管理事業の公演は、開館15周年事業として自主財源により、3年に一度の恒例となっている「第九演奏会」を多くの区民の参加を得て実施いたしました。

貸館事業は、利用者に安心して使用していただけるよう、日常点検や定期的な保守点検による安全の確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めた結果、GTホールの利用率は昨年度の水準を概ね確保し、小ホールの利用率は昨年度と比較して若干減少したものの、大ホールの利用率は昨年度と比較して6%程度増加させることができました。

2. 美術館

29年度は、美術館開館30周年を迎え、記念に相応しい展覧会や教育普及事業、指定管理事業などを実施いたしました。

展覧会事業は5展開催し、自主事業展覧会として「よみがえる画家一板倉 鼎・^{かなえ}須美子展」、「ヨーロッパの木の玩具」展、「目黒区美術館開館30周年記念 日本パステル畫事始め」展の3展を開催しました。また、指定管理事業による展覧会としては、「めぐろの子どもたち展」と「目黒区美術館30周年コレクション展＋秋岡芳夫全集5」の2展を開催しました。このうち、開館30周年記念事業として実施した「日本パステル畫事始め」展は、一般社団法人日本アート評価保存協会の「第5回秀逸企画賞」を受賞し、長年にわたり継続してきた色材研究が高く評価されました。

教育普及事業は、展覧会に関連したワークショップとして「木と遊ぶ」を夏に、「美術を見る・知る」を春に開催したほか、目黒区総合庁舎建築ガイドツアーや区内小学生を対象としたギャラリーツアー、館長・学芸員による講演会など幅広い年齢層に向けた多彩な事業を実施しました。建築ガイドツアーや講演会では定員を超える応募があり、これまでと同様に関心の高さが伺えました。

区民等の芸術文化活動の支援の一環として、区展及び目黒区美術家協会展など区内3美術団体の展覧会の開催に協力しました。

区民ギャラリーの貸出しは、施設点検等に要する期間を除き、利用率が99%となり例年以上の利用実績となりました。利用率の向上を目指し、利用期間中の注意事項説明書の掲出や利用最終日の搬出案内と確認用チェックリストの作成など安全性、利便性の改善に努めました。

指定管理事業である作品の保管・活用は、所蔵作品の修復のほか、作品画像のデジタル保管に向けて、データ変換処理を進めました。さらに、27年度以降、所蔵作品の棚卸（作品現状確認）も行っており、30年3月末に完了しました。また、国内の美術館などへ所蔵作品の貸出しを行い活用に供しました。

広報活動に関しては、これまでも増して新聞掲載やフェイスブック、インスタグラム等SNSの活用、めぐろ区報での30周年記念特集や美術テレビ番組に対する全面協力など積極的に推し進めました。

この他、開館30周年記念ワークショップセミナー（「ライフエンドレーエンでつくる動物たち」）の開催、記念グッズの作成・配布、30周年記念ロゴマークでのPR、過去図録市（過去に作成した図録、ポストカードを30周年特別価格で販売）の実施、これまでの活動への感謝をこめて当館ボランティア感謝のつどいの開催など様々な取組みを行いました。

収益事業は、例年並みのラウンジの売り上げとなり、夏シーズンには、メニューに恒例の冷たい炭酸飲料も加え、利用者から好評を得ました。ラウンジの利用については、26年4月から展覧会を観覧しなくても喫茶の利用が可能です。

今後とも、区民はじめ利用者の立場に立ちながら、魅力ある芸術文化活動の展開に心掛けるとともに、公益財団法人として「収支相償」の原則を踏まえつつ、職員の創意工夫によって、サービスの向上と効率的かつ効果的な財団の経営に努めてまいります。

平成 29 年度 目黒区文化ホール事業報告

第1 自主事業(定款第 4 条第 1 項第 1 号)

1 鑑賞事業

(1)主催事業 (9 事業=18 公演)

No.	内容	
1 ① ② ③	公演名	中目黒G Tプラザホール開館 15 周年記念イベント 0 歳からのコンサート キラキラ金管五重奏
	公演日	平成 29 年 6 月 3 日 (土) ①11 時開演 ②13 時 30 分開演 ③16 時開演
	会場	中目黒G Tプラザホール
	料金等	入場無料 (全席自由、未就学児入場可)
	入場者	①114 人 ②100 人 ③120 人 【各回予定枚数終了、各回募集定員 100 名】
	概要	中目黒G Tプラザホール開館 15 周年記念イベントとして開催した 0 歳から入場可能な親子向けコンサート。コンサート後は楽器体験を開催した。 【出演】原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、鈴木優 (ホルン) 廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ)、清田裕里江 (パーカッション) 【協力】株式会社ヤマハミュージックジャパン
2 ① ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 Journey in the Rhythm — NEW BEGINNING
	公演日	平成 29 年 8 月 26 日 (土)
	会場	大ホール
	料金等	ワークショップ参加費 5,000 円 公演 全席指定 一般 4,000 円 (区民一般 500 円引き) 大学生 2,000 円 小中高生 1,000 円
	入場者	参加者数 97 人【定員 100 名】 来場者数 738 人
	概要	「世界で観るべきダンサー25 人」にも選ばれた、日本を代表するタップダンサーで、中目黒にスタジオがある目黒ゆかりのアーティストである熊谷和徳の公演。ジャズミュージシャン、弦楽四重奏団の他、フィナーレでは公募で選ばれた約 100 名のワークショップ参加者たちが共演し、ステージと客席が一体となる盛り上がりを見せた。



3 ①	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベント めぐろパーシモンホールオープンデー	
	公演日	平成 29 年 9 月 9 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料（公演当日に整理券配布）	
	入場者	388 人	
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベントとして、オープンデーと称し、ホールゆかりのアーティストを起用した無料コンサートを開催した。 第 1 部は黒岩航紀＋リード紀亜奈によるピアノ・デュオコンサート、第 2 部は二期会マイスタージンガーによる歌の花束コンサートを行った。	
3 ② ③	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベント めぐろパーシモンホールオープンデー ハチアワセの響きー世界のアチコチからやってきた楽器が創る新しい景色	
	公演日	平成 29 年 9 月 9 日（土） ①13 時開演 ②15 時 15 分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（公演当日に整理券配布）	
	入場者	①84 人 ②133 人	
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベントとして、オープンデーと称し、ホールゆかりのアーティストを起用した無料コンサートを開催した。 【出演】ナナトール・チョベチルコ楽団 【小林武文（ドラム、パーカッション）、チェジュエチオル（チャング等）、大野慎矢（ガイダ）、天田透（コントラバスフルート他）、磯部舞子（ヴァイオリン）、上原なな江（マリンバ）】	
3 ④ ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベント めぐろパーシモンホールオープンデー ホール探検ツアー	
	公演日	平成 29 年 9 月 9 日（土） ①16 時 15 分 ②16 時 45 分	
	会場	大ホール、小ホール	
	料金等	入場無料（公演当日に整理券配布）	
	参加者	①20 人 ②20 人 【各回予定枚数終了、定員各回 20 名】	
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念イベントとして、大ホールおよび小ホール内の探検ツアーを実施した。	

4 ①	公演名	＜フレッシュ名曲コンサート プレ・コンサート＞ 水野優也＜チェロ＞アフタヌーン・コンサート	
	公演日	平成 29 年 10 月 8 日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 500 円	
	入場者	184 人【完売】	
	概要	平成 30 年 2 月開催のフレッシュ名曲コンサートに出演する水野優也（チェロ）によるキャンペーン・コンサート。 【出演】水野優也（チェロ）、諸田由里子（ピアノ） 【助成】（公財）東京都歴史文化財団 【企画協力】東京オーケストラ事業協同組合	
4 ②	公演名	フレッシュ名曲コンサート めぐろパーシモンホール春のコンサート	
	公演日	平成 30 年 2 月 3 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,500 円 A 席 2,800 円 学生席 1,000 円	
	入場者	1,115 人【完売】	
	概要	（公財）東京都歴史文化財団との共同主催。区民に気軽にクラシック音楽を親しんで頂く機会を提供し、若手新進演奏家をソリストに起用し活動を支援する事を目的としたコンサート。 【出演】大友直人（指揮）、水野優也（チェロ）、読売日本交響楽団（管弦楽） 【助成】（公財）東京都歴史文化財団	
5	公演名	目黒区美術館「日本パステル畫事始め展」 関連イベント 目黒区美術館 ミュージアムコンサート	
	公演日	平成 29 年 11 月 10 日（金）	
	会場	目黒区美術館	
	料金等	全席自由 2,500 円	
	入場者	51 人	
	概要	目黒区美術館の展覧会「日本パステル畫事始め展」会期中に実施したミュージアムコンサート。 【出演】上野由恵、片爪大輔、梶原一紘（フルート）	

6	公演名	鈴木大介・大萩康司 ギターデュオ	
	公演日	平成 29 年 11 月 11 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,000 円	
	入場者	183 人【完売】	
	概要	日本を代表するトップギタリスト二人による独奏と二重奏の公演。	
7	公演名	TRIO from quasimode —plays jazz standards vol.3—	
	公演日	平成 30 年 1 月 6 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,000 円	
	入場者	187 人	
	概要	日本のクラブジャズシーンを席卷した「quasimode（クオシモード）」のメンバーによるピアノ・トリオ公演。協賛として頂いた飲み物を 1 ドリンクとして、入場者に配布した。 【協賛】サッポロホールディングス	
8	公演名	春風亭小朝、春風亭昇太、林家たい平 新春爆笑三人会	
	公演日	平成 30 年 1 月 12 日（金）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,149 人【完売】	
	概要	新春恒例の落語公演。協賛として頂いたお菓子を、抽選で入場者 30 名に配布した。 【協賛】自由が丘 蜂の家	

9 ① ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 人形浄瑠璃 文楽 レクチャーと公演	
	公演日	平成 30 年 3 月 3 日 (土) ①13 時 30 分開演 ②17 時 00 分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,500 円	
	入場者	①146 人【完売】 ②137 人【完売】	
概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年を記念する、ユネスコ無形文化遺産である人形浄瑠璃文楽の公演とレクチャー。初めての方でも楽しめるように体験コーナーを設け、人形の繊細な動きを操る仕掛けの紹介や人形遣いの体験を行い、文楽を身近に感じることができ分かりやすかったという意見を多数頂いた。 【出演】豊竹呂勢太夫、鶴澤藤蔵、桐竹勘十郎ほか		

(2) 共催事業 (11 事業=60 公演)

No.	内容	
1	公演名	気になる三人かい… 柳家喬太郎・桃月庵白酒・春風亭一之輔
	公演日	平成 29 年 4 月 11 日 (火)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円
	入場者	1,080 人【完売】
	概要	夢空間主催による若手三人（柳家喬太郎・桃月庵白酒・春風亭一之輔）による落語公演。
2	公演名	高橋竹童一魂の津軽三味線
	公演日	平成 29 年 5 月 20 日 (土)
	会場	小ホール
	料金等	全席指定 3,500 円
	入場者	134 人
	概要	サウンドポート主催による津軽三味線の第一人者、高橋竹山の最後の内弟子、高橋竹童による公演。
3 ①	公演名	パーシモン・ジャズ・ワールドビート 2017
	公演日	平成 29 年 7 月 8 日 (土)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 S 席 7,000 円 A 席 6,000 円 (区民 500 円引き)
	入場者	812 人
	概要	様々なジャズの表現者が一堂に会する、(株)プランクトン主催のジャズフェスティバル。 【出演】山下洋輔、スガダイロー、アントニオ・ザンブージョ、二階堂和美 with Gentle Forest Jazz Band



3 ②	公演名	パーシモン・ジャズ・ワールドビート 2017 アフタヌーン・サロン・ジャズ	
	公演日	平成 29 年 7 月 8 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,800 円 (区民 500 円引き)	
	入場者	193 人【完売】	
	概要	様々なジャズの表現者が一堂に会する、(株)プランクトン主催のジャズフェスティバル。 【出演】ショーロクラブ、桑原あい、田中邦和+佐藤芳明、川嶋哲郎、ミニ・ペンギン・カフェ	
4 ① ②	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 ミュージカル・コメディ 「キス・ミー・ケイト」	
	公演日	平成 29 年 7 月 15 日 (土) ①12 時開演 ②17 時開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 5,500 円 A 席 4,500 円 (区民 500 円引き)	
	入場者	①956 人 ②865 人	
	概要	(一社)映画演劇文化協会主催によるミュージカル・コメディ。 出演に松平健、一路真輝、水夏希、平方元基、川崎麻世、太川陽介ほか。	
5 ① ②	公演名	第 5 回めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクールパフォーマ ンス	
	公演日	①平成 29 年 8 月 16 日 (水) ②平成 29 年 8 月 17 日 (木)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 子ども (4 歳から中学生) ①大人 2,000 円 子ども 1,000 円 ②大人 3,000 円 子ども 1,500 円	
	入場者	①976 人 ②1,012 人	
	概要	東京バレエ学校の生徒による公演。	

5 ③ ④ ⑤ ⑥	公演名	第5回めぐろバレエ祭り バレエダンサーと写ろう！	
	公演日	①平成29年8月16日（水） ②平成29年8月17日（木） ③平成29年8月19日（土） ④平成29年8月20日（日）	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	大ホール公演来場者対象	
	概要	大ホールのホワイエにパネルを設置し、その前で王子様、お姫様に扮したダンサーと一緒に撮影ができるイベント。	
5 ⑦ ⑧	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 踊るためのピラティス	
	公演日	平成29年8月16日（水） ①14時開演 ②15時30分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①14人（14歳以上の女性） ②20人（20歳以上の女性）	
概要	ダンサーの体を整える動きを中心に、初級編は初心者の方にもおすすめの踊るためのピラティスワークショップ。		
5 ⑨	公演名	第5回めぐろバレエ祭り クロワゼプレゼンツ 上野水香が教える！おとなのための「キトリ」レッスン	
	公演日	平成29年8月16日（水）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 10,000 円	
	入場者	30人【定員30名】 目安としてバレエ経験3年以上	
概要	ドン・キホーテ第3幕、キトリの結婚式において踊られるヴァリエーションを上野水香がレッスン。		

5 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 親子でリトミック	
	公演日	平成29年8月18日（金） ①10時開演（0歳～1歳半） ②11時開演（0歳～1歳半） ③12時30分開演（1歳半～2歳半） ④13時30分開演（1歳半～2歳半）	
	会場	めぐろパーシモンホール第一練習室	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①13組 26人【定員 15組 30名】 ②12組 24人【定員 15組 30名】 ③11組 22人【定員 15組 30名】 ④14組 28人【定員 15組 30名】	
	概要	対象年齢別にあわせて体を動かすリズム遊び体験	
5 ⑭	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 森永乳業プレゼンツ 東京バレエ団プリンシパル柄本弾による 女性のためのバレエ・レッスン	
	公演日	平成29年8月18日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	27人【定員 30名】	
	概要	18歳以上でバレエ歴1年以上の女性を対象にしたレッスン。	
5 ⑮ ⑯ ⑰	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 伸芽会プレゼンツ はじめてのバレエ	
	公演日	①平成29年8月18日（金） ②平成29年8月19日（土） ③平成29年8月20日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①34人【定員 40名】 ②35人【定員 40名】 ③30人【定員 40名】	
	概要	3歳から6歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスン。	

5 ⑮ ⑰	公演名	第5回めぐろバレエ祭り チャコットプレゼンツ トゥーシューズを知ろう！	
	公演日	平成 29 年 8 月 18 日（金） ①15 時 ②16 時 30 分	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（事前申込制）	
	入場者	①90 人 【定員 90 名】 ②100 人 【定員 90 名】	
	概要	プロの職人によるトゥーシューズが出来上がるまでの実演とレクチャー。	
5 ⑳ ㉑	公演名	第5回めぐろバレエ祭り チャコットプレゼンツ ティアラをつくろう！	
	公演日	平成 29 年 8 月 18 日（金） ①15 時 ②16 時 30 分	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,000 円	
	入場者	①45 人 【定員 50 名】 ②48 人 【定員 50 名】	
	概要	ビーズなどを飾りつけて光る自分だけのティアラを作るワークショップ。	
5 ㉒	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 世界文化社「LOVE Ballerina」プレゼンツ プロフェッショナルに学ぶ“美”の魅せ方	
	公演日	平成 29 年 8 月 18 日（金）	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（事前申込制）	
	入場者	参加者 71 人 【定員 90 名】	
	概要	小学5年生以上を対象にした、東京バレエ団の川島麻美子らとのトークイベント。	

5 ②③	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ 「ねむれる森の美女」最終舞台稽古見学会	
	公演日	平成29年8月18日（金）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	参加者728人【定員700名】	
	概要	子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」のリハーサルを公開した。	

5 ②④ ②⑤	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ 「ねむれる森の美女」	
	公演日	平成29年8月19日（土） ①11時30分開演 ②14時30分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 大人 S席5,000円 A席4,000円 子ども（4歳～中学生） S席2,500円A席2,000円	
	入場者	①1,064人 ②1,104人	
	概要	東京バレエ団による子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」。初めてのバレエ鑑賞の方にも楽しめる公演。	

5 ②⑥ ②⑦	公演名	第5回めぐろバレエ祭り TOMAS 森永乳業 プレゼンツ ①お父さんといっしょ！ ②お母さんと踊ろう！	
	公演日	平成29年8月19日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費800円	
	入場者	①13組26人【定員16組32名】 ②12組24人【定員16組32名】	
	概要	①は5歳から小学3年生とお父さん、②は5歳から小学3年生とお母さんが一緒に体験できるイベント。	

5 ②8 ②9	公演名	第5回めぐろバレエ祭り TOMASプレゼンツ もっと上手に	
	公演日	①平成29年8月19日（土） ②平成29年8月20日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①33 人【定員 40 名】 ②35 人【定員 40 名】	
	概要	バレエ歴1年以上の小学1年生～3年生を対象にしたワークショップ。	
5 ③0	公演名	第5回めぐろバレエ祭り Clara プレゼンツ 渡辺理恵の「ジゼル」レッスン	
	公演日	平成29年8月19日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 5,000 円	
	入場者	参加者 30 人【定員 30 名】	
	概要	小学校5年生以上でトゥーシューズ歴1年以上の方を対象にしたレッスン。	
5 ③1 ③2	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 森永乳業プレゼンツ コンドルズ ダンスワークショップ	
	公演日	平成29年8月19日（土） ①13時開演 ②14時30分開演	
	会場	八雲体育館	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①24 人【定員 50 名】 ②21 人【定員 50 名】	
	概要	①小学1～3年生を対象、②高校生以上を対象としたダンス・カンパニーのコンドルズによるダンスワークショップ。	

5 33 34	公演名	第5回めぐろバレエ祭り バレエ・コンサート	
	公演日	平成29年8月20日（日） ①13時開演 ②16時開演	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 大人 S席5,000円 A席4,000円 子ども（4歳から中学生） S席2,500円 A席2,000円	
	入場者	①1,104人 ②1,094人	
	概要	宝石箱をあけたような煌めくバレエの名作集。 【出演・演目】「エスメラルダ」上野水香、柄本弾 「ジゼル」渡辺理恵、秋元康臣 「パリの炎」足立真里亜、井福俊太郎 「パキータ」二瓶加奈子、宮川新大	
5 35	公演名	第5回めぐろバレエ祭り フェリシーぬり絵 コンテスト	
	公演日	平成29年8月20日（日）	
	会場	第一練習室	
	料金等	入場無料	
	入場者	延べ377人	
	概要	映画「フェリシーと夢のトゥーシューズ」公開記念特別企画として、ぬり絵のコンテストを開催した。	
5 36 37	公演名	第5回めぐろバレエ祭り ビューティー・ペルヴィス	
	公演日	平成29年8月20日（日） ①10時開演 ②11時30分開演	
	会場	第二練習室	
	料金等	参加費800円	
	入場者	①5人【定員10名】 ②7人【定員10名】	
	概要	筋膜と骨盤に働きかけ、ボディラインと姿勢を整えるプログラム。	

5 ③⑧ ③⑨	公演名	第5回めぐろバレエ祭り 踊るためのヨガ	
	公演日	平成29年8月20日（日） ①14時開演 ②15時30分開演	
	会場	第二練習室	
	料金等	参加費 800 円	
	入場者	①9人 【定員 10 名】 ②10人 【定員 10 名】	
	概要	レッスン前のウォームアップにおすすめの、体のバランスを整えるヨガプログラム。	
5 ④⑩ ④① ④②	公演名	第5回めぐろバレエ祭り スーパーバレエMIX BON踊り	
	公演日	平成29年8月20日（日） ①14時開演 ②15時30分開演 ③17時開演	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料【各回 200 名】	
	入場者	①125人 ②200人 ③70人	
	概要	ダンスカンパニーのコンドルズの振り付けと指導による、オリジナル盆踊り。	
5 ④③	公演名	第5回めぐろバレエ祭り クラス・レッスン見学会	
	公演日	平成29年8月20日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場自由	
	入場者	700人【定員 700 名】	
	概要	東京バレエ団ダンサーたちのレッスンを特別公開した。	
公演中止		平成29年9月6日（水）実施予定の「柳家小三治一門会」は、柳家小三治が病 気療養のため、公演中止となった。	

6	公演名	まっぴるま特選落語会 三遊亭小遊三・三遊亭円楽 二人会	
	公演日	平成 29 年 11 月 24 日（金）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 4,000 円 A 席 3,500 円	
	入場者	1,125 人	
	概要	夢空間主催による落語二人会。	
7 ① ②	公演名	THE PIANO ERA 2017	
	公演日	①平成 29 年 11 月 25 日（土） ②平成 29 年 11 月 26 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 前売券 7,500 円／当日券 8,000 円 2 日通し券 13,000 円	
	入場者	①455 人 ②744 人	
	概要	クラシックやジャズなどのジャンルにこだわらず、国内外で活躍するピアニストを集め、2 年ぶりに実施した。	
8 ①	公演名	Meguro Dance Town 2017 ダレデモダンスワークショップ ダレデモできる！SAM の健康イメージダンス！	
	公演日	平成 29 年 12 月 16 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	28 人【定員 50 名】	
	概要	50 歳以上の方を対象にしたシニア世代の健康を意識したダンスワークショップ。 【講師】SAM	

8 ②	公演名	Meguro Dance Town 2017 ダレデモダンスワークショップ おとうさん、おかあさんといっしょ！ わくわく親子キッズダンス！	
	公演日	平成 29 年 12 月 16 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1 組 500 円	
	入場者	101 人【定員 80 名】	
	概要	親子向けダンスワークショップ。 対象は 3 歳～小学校低学年（1～3 年生）の子とその親（ダンス経験問わず）。	
8 ③	公演名	Meguro Dance Town 2017 ダレデモダンスワークショップ 美と健康を手に入れよう！ Dancing The 美ボディー！	
	公演日	平成 29 年 12 月 16 日（土）	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 500 円	
	入場者	24 人【定員 50 名】	
	概要	美しいポージングや魅せ方なども研究しながら行うダンスワークショップ。	
8 ④ ⑤	公演名	Meguro Dance Town 2017 GRAND SUM-DANCE JUNCTION-	
	公演日	平成 29 年 12 月 17 日（日） ①11 時 30 分開演 ②16 時 00 分開演	
	会場	大ホール	
	料金等	前売自由席 3,500 円（区民割 500 円引） 前売指定席 4,000 円 当日自由席 4,000 円	
	入場者	①540 人 ②543 人	
	概要	目黒から「ダンス」を通じて芸術・文化を発信していくことを目的とした T R F の S A M がプロデュースするストリートダンス公演。	

9	公演名	ロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ ～レオニード・ヤコブソン記念～ 「白鳥の湖」	
	公演日	平成 30 年 1 月 6 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 7,500 円 A 席 5,000 円	
	入場者	644 人	
	概要	インプレサリオ東京主催によるロシア国立サンクトペテルブルグ・アカデミー・バレエ公演。	
10	公演名	新春！デキシールランド・ジャズ・ジャンボリーvol. 10	
	公演日	平成 30 年 1 月 13 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 5,000 円 A 席 4,500 円 （当日 500 円増し）	
	入場者	921 人	
	概要	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビックバンドジャズコンサート。	
11	公演名	TOKYO FM 夢のゴスペルコンサート Vol. 5	
	公演日	平成 30 年 3 月 3 日（土） （全 4 回のワークショップあり）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 3,500 円 小中学生 1,000 円	
	入場者	来場者 877 人 ワークショップ参加者 79 人【定員 100 名】	
	概要	TOKYO FM とムジカキアラ主催によるゴスペルコンサート。市民参加型のワークショップを全 4 回実施し、本番はプロのアーティストと一緒にゴスペル曲をステージで披露した。コンサートの模様は TOKYO FM で放送された。	

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業 (3事業＝4公演)

No.	内容	
1	公演名	めぐろパーシモンホール 第6回避難訓練コンサート
	公演日	平成29年8月27日(日)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定、入場無料(要事前申込)
	入場者	493人【予定枚数終了、定員600名】
	概要	コンサート中の災害に備えるために、観客、出演者共に避難訓練に参加する公演。今回は震度6の地震があったことを想定して実施した。また、碑文谷警察署によるテロリストの制圧訓練が行われた。 出演者は、警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード(MEC)。 【後援】目黒区 【協賛】サクマ製菓(株) 【協力】碑文谷警察署、東京急行電鉄(株)
2 ①	公演名	東日本大震災復興支援コンサート
	公演日	平成30年3月4日(日)
	会場	小ホール
	料金等	全席指定1,000円
	入場者	175人【完売】
	概要	東日本大震災の発生から7年が経過し、震災の記憶を風化させることなく、目黒区の友好都市宮城県気仙沼市の復興を支援する事業として実施した。 【出演】畠山美由紀(シンガー・ソング・ライター)、気仙沼市民吹奏楽団、目黒吹奏楽団、目黒区立中目黒小学校合唱団、佐藤千晶(司会) 【助成】一般財団法人地域創造
2 ②	公演名	東日本大震災復興支援コンサート 関連イベント 物産展&震災復興写真展
	公演日	平成30年3月4日(日)
	会場	小ホールホワイエ
	料金等	入場無料
	入場者	500人(延べ人数)
	概要	コンサートの同日開催として、目黒区の友好都市である宮城県気仙沼市の物産展や写真展を開催し、多くのお客様が来場した。 【助成】一般財団法人地域創造



3	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 未来の音ガラ・コンサート	
	公演日	平成 30 年 3 月 21 日（水・祝）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 3,000 円 ペア券 5,000 円 学生 1,000 円	
	入場者	709 人	
概要	これからの時代を響かせる若き演奏家たちの「今」を聴くをコンセプトに、2007 年からスタートし、これまでに 26 組の若手音楽家が出演したシリーズ「未来の音」。大雪にもかかわらず多くの方が来場し、時を経て、変化と進化を続ける音楽家たちの演奏に会場が大いに盛り上がった。 【出演】北村朋幹（ピアノ）、郷古廉（ヴァイオリン）、横坂源（チェロ）、エール弦楽四重奏楽団【山根一仁（ヴァイオリン）、毛利文香（ヴァイオリン）、田原綾子（ヴィオラ）、上野通明（チェロ）】		

(2) 共催事業 (15 事業＝18 公演)

No.	内容	
1	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 目黒区東山オーケストラ 第 23 回定期演奏会
	公演日	平成 29 年 4 月 9 日(日)
	会場	大ホール
	料金等	入場無料
	入場者	1,000 人
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念として、目黒区立東山小学校特設管弦楽クラブと、そのOB・OGによるオーケストラ公演を実施した。併せて、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークシリーズとして、大ホールホワイエに加盟 5 団体の紹介をパネルで展示した。
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 和草コンサート
	公演日	平成 29 年 5 月 20 日(土) ①14 時開演 ②18 時開演
	会場	中目黒G T プラザホール
	料金等	全席自由 一般 3,000 円 学生 1,500 円(小・中・高)
	入場者	①107 人 ②39 人
	概要	東京インターアーツ目黒主催による和楽器中心のコンサート。
3	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 目黒区民交響楽団第 85 回定期演奏会
	公演日	平成 29 年 6 月 4 日(日)
	会場	大ホール
	料金等	全席自由 1,000 円
	入場者	1,187 人
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念として、第 85 回定期演奏会を実施した。併せて、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークシリーズとして、大ホールホワイエに加盟 5 団体の紹介をパネルで展示した。



4	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 ヤマハ目黒吹奏楽団第 37 回定期演奏会	
	公演日	平成 29 年 6 月 11 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	1,253 人（延べ人数）	
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念として、第 37 回定期演奏会を実施した。併せて、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークシリーズとして、大ホールホワイエに加盟 5 団体の紹介をパネルで展示した。	
5 ① ②	公演名	伝統文化「歌舞伎」に親しむ（全 2 回）	
	公演日	①平成 29 年 6 月 17 日（土） ②平成 29 年 6 月 24 日（土）	
	会場	①中目黒 G T プラザホール ②国立劇場	
	料金等	参加費 3,000 円	
	入場者	121 人	
	概要	（公財）北野生涯教育振興会主催の「身近な場所で日本の伝統文化を親しむ」シリーズ。今回 9 回目で歌舞伎を取り上げるのは 2 回目となる。公演の第 2 回目は 6 月 24 日国立劇場において、イヤホンガイド付の歌舞伎鑑賞教室（演目「毛抜」）に参加した。	
6	公演名	東京新聞全国舞踊コンクール 上位入賞者による 「第 3 4 回アンコール公演」	
	公演日	平成 29 年 6 月 17 日（土）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 前売券 2,500 円 当日券 2,800 円	
	入場者	800 人（延べ人数）	
	概要	東京新聞主催による全国舞踊コンクールの上位入賞者（第 74 回全国舞踊コンクール各部門上位 3 位までの入賞者）による公演。	

7	公演名	第 64 回東京新聞児童舞踊合同公演	
	公演日	平成 29 年 6 月 18 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 2,000 円	
	入場者	800 人（延べ人数）	
	概要	東京新聞主催による児童舞踊部門の合同公演。	
8	公演名	第 15 回パーシモンほたる祭り	
	公演日	平成 29 年 7 月 9 日（日）	
	会場	大ホール、小ホール めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者 8,715 人 （ほたる観賞 2,055 人含む）	
	概要	周辺の小学校・中学校・高等学校・大学や町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による事業。器楽演奏、ダンス、模擬店、書道パフォーマンスを実施した。	
9	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 第 24 回めぐろ童謡コンサート	
	公演日	平成 29 年 10 月 22 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 前売券 800 円 中学生以下無料 当日券 1,000 円	
	入場者	850 人（延べ人数）	
	概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念として、第 24 回童謡コンサートを実施した。併せて、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークシリーズとして、大ホールホワイエに加盟 5 団体の紹介をパネルで展示した。	

10	公演名	東京マンドリン宮田楽団 100 周年記念オータムコンサート	
	公演日	平成 29 年 11 月 12 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料（事前申込）	
	入場者	930 人	
	概要	目黒区で活動している東京マンドリン宮田楽団による創立 100 周年記念コンサート。	
11	公演名	身体で聴こう音楽会 第 240 回定期演奏会	
	公演日	平成 29 年 12 月 23 日（土・祝）	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料（事前申込）	
	入場者	140 人	
	概要	パイオニア株式会社主催による聴覚障害者向けのクリスマスコンサート。障害を持つ方のために、音を振動に変える体感音響システムを使用した。	
12	公演名	東日本大震災鎮魂コンサート vol.5 ー想いを胸に 生きるー	
	公演日	平成 30 年 3 月 11 日（日）	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	167 人【完売】	
	概要	（公財）北野生涯教育振興会主催公演。公募で集った合唱団「フォーレのレクイエムを学び歌う会」が半年かけて練習し、東日本大震災の被災地への鎮魂の思いを込めて成果を発表した。また、講談師の宝井琴柑が「伊達政宗と震災復興」と題した新作を披露した。	

13 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2018	
	公演日	平成 30 年 3 月 17 日 (土) ①11 時開演 ②14 時 30 分開演	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円	
	入場者	①175 人 ②182 人 【2 回目は完売】	
	概要	東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催による親子向けコンサート。	
14	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 第 15 回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	平成 30 年 3 月 18 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般 2,000 円 学生 1,000 円	
	入場者	812 人	
概要	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念として、目黒区クラシック音楽家協会主催による声楽やピアノ、弦楽など協会員が出演のコンサートを実施した。併せて、めぐろパーシモン芸術文化ネットワークシリーズとして、大ホールホワイエに加盟 5 団体の紹介をパネルで展示した。		
15	公演名	東京新聞主催 第 75 回全国舞踊コンクール	
	公演日	平成 30 年 3 月 23 日 (金) ～ 平成 30 年 4 月 4 日 (水)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	7,350 人 (延べ人数)	
概要	旧目黒区公会堂開館時から開催され、日本を代表する舞踊家を多数輩出している東京新聞主催の舞踊の全国大会。		

3 学習・練習事業

(1) 主催事業 (4 事業=36 公演)

No.	内容	
1 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ
	公演日	平成 29 年 7 月 11 日 (火)
	会場	目黒区立第八中学校
	入場者	中学 2 年生 70 人 (特別支援学級生徒 8 人含む)
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】湯浅ももこ (ソプラノ)、原田勇雅 (バリトン)、矢野里奈 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財) 北野生涯教育振興会 【協力】NPO 法人日本声楽家協会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
1 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ
	公演日	平成 29 年 7 月 11 日 (火)
	会場	目黒区立大岡山小学校
	入場者	小学 4 年生 115 人
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】辻本玲 (チェロ)、居福健太郎 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO 法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
1 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ
	公演日	平成 29 年 7 月 14 日 (金)
	会場	目黒区立原町小学校
	入場者	小学 5、6 年生 75 人
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】荒牧小百合 (ソプラノ)、布施雅也 (テノール)、古川かりん (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協賛】(公財) 北野生涯教育振興会 【協力】NPO 法人日本声楽家協会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



1 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 7 月 18 日 (火)	
	会場	目黒区立烏森小学校	
	入場者	小学 5 年生 40 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 荒牧小百合 (ソプラノ)、原田勇雅 (バリトン)、矢野里奈 (ピアノ) 【後援】 目黒区教育委員会 【協賛】 (公財) 北野生涯教育振興会 【協力】 N P O 法人日本声楽家協会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 4 日 (月)、5 日 (火)	
	会場	目黒区立東根小学校	
	入場者	小学 4 年生 121 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 小林武文 (パーカッション)、上原なな江 (パーカッション)、若鍋久美子 (パーカッション) 【後援】 目黒区教育委員会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 4 日 (月)	
	会場	目黒区立中目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 88 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、 荒川琢哉 (コンガ) 【後援】 目黒区教育委員会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 4 日 (月)	
	会場	目黒区立駒場小学校	
	入場者	小学 6 年生 60 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、 荒川琢哉 (コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 8 日 (金)	
	会場	目黒区立田道小学校	
	入場者	小学 5 年生 45 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、二宮聡美 (ホルン)、 廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 22 日 (金)	
	会場	目黒区立五本木小学校	
	入場者	小学 4 年生 72 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】小林武文 (パーカッション)、上原なな江 (パーカッション)、若鍋久美子 (パーカッション) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 10 月 23 日 (月)	
	会場	目黒区立菅刈小学校	
	入場者	小学 4、5 年生 94 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、豊田実加 (ホルン)、 廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 11 月 17 日 (金)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校	
	入場者	小学 5 年生 41 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】柏原奈穂 (ソプラノ)、志田雄啓 (テノール)、久住綾子 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO 法人日本声楽家協会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 12 日 (火)	
	会場	目黒区立上目黒小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 48 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】鵜木絵里 (ソプラノ)、小林大祐 (バリトン)、古川かりん (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO 法人日本声楽家協会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 15 日 (金)	
	会場	目黒区立月光原小学校	
	入場者	小学 4 年生 58 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】横坂源 (チェロ)、多賀谷祐輔 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 18 日 (月)	
	会場	目黒区立中根小学校	
	入場者	小学 4 年生 80 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、 荒川琢哉 (コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 18 日 (月)	
	会場	目黒区立下目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 55 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、 荒川琢哉 (コンガ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 18 日（月）	
	会場	目黒区立宮前小学校	
	入場者	小学 6 年生 55 人	
概要		区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 渡辺玲子（ヴァイオリン）、坂野伊都子（ピアノ） 【後援】 目黒区教育委員会 【協力】 NPO法人子どもに音楽を 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 12 月 22 日（金）	
	会場	目黒区立向原小学校	
	入場者	小学 3、4 年生 73 人	
概要		区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 松田理奈（ヴァイオリン）、大須賀恵里（ピアノ） 【後援】 目黒区教育委員会 【協力】 NPO法人子どもに音楽を 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 1 月 11 日（木）	
	会場	目黒区立第十中学校	
	入場者	中学 2 年生 125 人	
概要		区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】 白石光隆（ピアノ） 【後援】 目黒区教育委員会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 1 月 19 日 (金)	
	会場	目黒区立八雲小学校	
	入場者	小学 6 年生 105 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄 (トランペット)、尹千浩 (トランペット)、久永重明 (ホルン) 栗田晃 (トロンボーン)、次田心平 (チューバ) 【後援】目黒区教育委員会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 1 月 23 日 (火)	
	会場	目黒区立鷹番小学校	
	入場者	小学 6 年生 58 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】山崎伸子 (チェロ)、広海滋子 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 1 月 23 日 (火)	
	会場	目黒区立不動小学校	
	入場者	小学 5 年生 67 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、豊田実加 (ホルン)、 廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

1 ②②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 2 月 6 日 (火)	
	会場	目黒区立油面小学校	
	入場者	小学 4 年生 68 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】松山冴花 (ヴァイオリン)、津田裕也 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
1 ②③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 2 月 27 日 (火)	
	会場	目黒区立碑小学校	
	入場者	小学 6 年生 96 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動 【出演】古川展生 (チェロ)、塩入俊哉 (ピアノ) 【後援】目黒区教育委員会 【協力】NPO法人子どもに音楽を 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 9 月 14 日 (木)	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園	
	入場者	4、5 歳児 70 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】柏原奈穂 (ソプラノ)、大川信之 (テノール)、大野真由子 (ピアノ) 【協力】NPO法人日本声楽家協会 【助成】平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 10 月 20 日 (金)	
	会場	目黒区立みどりがおかこども園	
	入場者	3、4、5 歳児 83 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 島裕介 (トランペット、フルート)、齋藤純一 (ギター)、大田和正樹 (大太鼓) 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 10 月 24 日 (火)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東山	
	入場者	50 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子 (ヴァイオリン)、横田由美 (ヴァイオリン)、油谷伸一 (ヴァイオリン)、橋本安男 (チェロ)、山本紀子 (司会) 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 11 月 1 日 (水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	
	入場者	50 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子 (ヴァイオリン)、横田由美 (ヴァイオリン)、油谷伸一 (ヴァイオリン)、橋本安男 (チェロ)、井田ひとみ (司会) 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 11 月 8 日（水）	
	会場	目黒区立心身障害者センター あいアイ館	
	入場者	50 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 鶴木絵里（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、松本康子（ピアノ） 【協力】 NPO法人日本声楽家協会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
2 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 11 月 22 日（水）	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	
	入場者	60 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴァイオリン）、橋本安男（チェロ） 村上千香（司会） 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
2 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 11 月 22 日（水）	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	200 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 東京音楽大学学生メンバー 三ツ木麗（ソプラノ）、林ひかり（ヴァイオリン）、桑澤真雪（ヴァイオリン）、平美織（ピアノ） 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	

2 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 30 年 3 月 28 日 (水)	
	会場	目黒区立げっこうはらこども園	
	入場者	3、4、5 歳児 38 人	
	概要	学校以外のアウトリーチ活動 【出演】 鶴木絵里 (ソプラノ)、布施雅也 (テノール)、松本康子 (ピアノ) 【協力】 N P O 法人日本声楽家協会 【助成】 平成 29 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業	
3 ①	公演名	子どものためのワークショップ 2017 前半プログラム 演劇入門ワークショップ	
	公演日	平成 29 年 6 月 11 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1,500 円	
	入場者	参加者 32 人【定員 30 名】	
概要	日本を代表する劇作家・演出家である平田オリザ氏の指導を直接受けられる都内で唯一の人気演劇ワークショップ。 【対象者】 中学生、高校生 【講師】 平田オリザ (劇作家、演出家) 【協賛】 (公財) 北野生涯教育振興会		
3 ②	公演名	子どものためのワークショップ 2017 後半プログラム 夏休み演劇ワークショップ	
	公演日	平成 29 年 7 月 25 日 (火) ～29 日 (土) ＊最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,000 円 発表会 入場無料	
	入場者	参加者 18 人【定員 20 名】 発表会入場者 54 人	
概要	5 日間のワークショップを通して、ホールオリジナルの作品を作り上げ、最終日に発表会を行う演劇初心者でも参加可能なワークショップ。 【対象者】 中学生、高校生 【講師】 吉田小夏 (劇作家、演出家) 【協賛】 (公財) 北野生涯教育振興会		

3 ③	公演名	子どものためのワークショップ 2017 夏休みダンスワークショップ	
	公演日	平成 29 年 7 月 25 日（火）～28 日（金） ＊最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円 発表会 入場無料	
	入場者	参加者 29 人【定員 30 名】 発表会入場者 88 人	
	概要	4 日間のワークショップを通して、ホールオリジナルの作品を作り上げ、最終日に発表会を行うダンスワークショップ。 【対象者】中学生、高校生 【講師】近藤良平（コンドルズ主宰、振付家、ダンサー）、スズキ拓朗（チャイロイプリン主宰、振付家、演出家、ダンサー） 【協賛】（株）アペックス	
4 ① ②	公演名	大人の演劇ワークショップ 創作パフォーマンス マイライフ・マイステージ 発表会	
	公演日	平成 29 年 10 月 29 日（日） （全 8 回のワークショップあり）	
	会場	小ホール	
	料金等	発表会 500 円 ワークショップ参加費 1,500 円	
	入場者	来場者 ①52 人 ②53 人 ワークショップ参加者 12 人【定員 20 名】	
	概要	大人のための演劇ワークショップ。参加者の心に残ったエピソードにスポットを当て、絵本「もりのなか」を題材とした舞台創作に取り組み、自分の体験を自分なりの言葉で語り、プロのアーティストと共に音楽や身体を使って表現するワークショップ。 【講師】能祖将夫（桜美林大学芸術文化学群教授・北九州芸術劇場プロデューサー）、竹村浄子（ピアノ）、井上大輔（ダンス）、藤井友美（ダンス） 【協賛】（株）アペックス	

No	月／日	施設名	参加者	出演者
1	7 月 11 日(火)	第八中学校	2 年生 70 人	湯浅ももこ(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、矢野里奈(ピアノ)
2	7 月 11 日(火)	大岡山小学校	4 年生 115 人	辻本玲(チェロ)、居福健太郎(ピアノ)
3	7 月 14 日(金)	原町小学校	5、6 年生 75 人	荒牧小百合(ソプラノ)、布施雅也(テノール)、古川かりん(ピアノ)
4	7 月 18 日(火)	烏森小学校	5 年生 40 人	荒牧小百合(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、矢野里奈(ピアノ)
5	9 月 4 日(月)、5 日(火)	東根小学校	4 年生 121 人	小林武文、上原なな江、若鍋久美子(パーカッション)
6	9 月 4 日(月)	中目黒小学校	6 年生 88 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
7	9 月 4 日(月)	駒場小学校	6 年生 60 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
8	9 月 8 日(金)	田道小学校	5 年生 45 人	原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
9	9 月 14 日(木)	ひがしやま幼稚園	4、5 歳児 70 人	柏原奈穂(ソプラノ)、大川信之(テノール)、大野真由子(ピアノ)
10	9 月 22 日(金)	五本木小学校	4 年生 72 人	小林武文、上原なな江、若鍋久美子(パーカッション)
11	10 月 20 日(金)	みどりがおかこども園	3、4、5 歳児 83 人	島裕介(トランペット、フルート)、齋藤純一(ギター)、大田和正樹(和太鼓)
12	10 月 23 日(月)	菅刈小学校	4、5 年生 94 人	原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
13	10 月 24 日(火)	特別養護老人ホーム 東山	50 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田久美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、山本紀子(司会)
14	11 月 1 日(水)	特別養護老人ホーム 中目黒	50 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田久美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、井田ひとみ(司会)
15	11 月 8 日(水)	心身障害者センター あいアイ館	50 人	鷗木絵里(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、松本康子(ピアノ)
16	11 月 17 日(金)	緑ヶ丘小学校	5 年生 41 人	柏原奈穂(ソプラノ)、志田雄啓(テノール)、久住綾子(ピアノ)
17	11 月 22 日(水)	特別養護老人ホーム 東が丘	50 人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田久美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)

18	11月22日(水)	独立行政法人 国立病院機構 東京医療セン ター	200 人	東京音楽大学学生メンバー 三ツ木麗 (ソプラノ)、林ひかり (ヴァイオリ ン)、桑澤真雪 (ヴァイオリン)、平美織 (ピア ノ)
19	12月12日(火)	上目黒小学校	5、6 年生 48 人	鵜木絵里(ソプラノ)、小林大祐(バリトン)、古川かり ん(ピアノ)
20	12月15日(金)	月光原小学校	4 年生 58 人	横坂源(チェロ)、多賀谷祐輔(ピアノ)
21	12月18日(月)	中根小学校	4 年生 80 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁 谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
22	12月18日(月)	下目黒小学校	6 年生 55 人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁 谷和利(ベース)、荒川琢哉(コンガ)
23	12月18日(月)	宮前小学校	6 年生 55 人	渡辺玲子(ヴァイオリン)、坂野伊都子(ピアノ)
24	12月22日(金)	向原小学校	3、4 年生 73 人	松田理奈(ヴァイオリン)、大須賀恵里(ピアノ)
25	1月11日(木)	第十中学校	2 年生 125 人	白石光隆(ピアノ)
26	1月19日(金)	八雲小学校	6 年生 105 人	読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永 重明(ホルン)、栗田晃 (トロンボーン)、次田心平 (チューバ)
27	1月23日(火)	鷹番小学校	6 年生 58 人	山崎伸子(チェロ)、広海滋子(ピアノ)
28	1月23日(火)	不動小学校	5 年生 67 人	原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、 豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎 勇太(チューバ)
29	2月6日(火)	油面小学校	4 年生 68 人	松山冴花(ヴァイオリン)、津田裕也(ピアノ)
30	2月27日(火)	碑小学校	6 年生 96 人	古川展生(チェロ)、塩入俊哉(ピアノ)
31	3月28日(水)	げっこうはら こども園	3、4、5 歳児 38 人	鵜木絵里 (ソプラノ)、布施雅也 (テノール)、 松本康子 (ピアノ)

(合計 31ヶ所・2,300人)
(小学校 21校、中学校 2校、その他 8ヶ所)

4 芸術文化情報の収集と発信

開館 15 周年事業の周知や地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行、ホームページ、SNS、交通広告等を活用しながら芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.60 夏号	平成 29 年 7 月 2 日	95,000 部	あり(89,000 部)
VOL.61 秋号	平成 29 年 10 月 1 日	80,000 部	あり(74,000 部)
VOL.62 冬号	平成 30 年 1 月 5 日	80,000 部	あり(74,000 部)
VOL.63 春号	平成 30 年 3 月 25 日	80,000 部	あり(74,000 部)

アートレターの紙面はこれまで 4 ページまたは 6 ページとしていたが、今年度から 8 ページに拡充し、カラーで発行した。また、内容も公演情報だけではなく、出演者へのインタビュー記事を掲載する等、公演の特色を分かりやすくした。

(2) 広報一覧

広報媒体		目的・結果等
自社媒体	15 周年ロゴ	様々な媒体を使って、開館 15 周年であることを周知した。
	情報紙「アートレター」	読み物的なページを増やし、且つ発行部数を増刷した。
	15 周年全体チラシ・ポスター	周年事業と関連事業の周知を図るため、印刷物を制作した。
	ホームページ	周年特設サイト等を制作し、周年事業の周知を図った。
	SNS(ツイッター、フェイスブック)	SNSを活用し、定期的に事業の周知等に努めた。
	メールマガジン	チケットサイトに登録している方に計 10 回、公演情報を周知した。
	YouTube(動画)	新たにYouTubeを導入し、さらなる周知を図った。
他社媒体	区報、各区内施設	区報に情報を掲載し、且つチラシの配架やポスターの掲示に努めた。
	他施設等	他のホールや図書館や出版社、お店等にチラシ等を配布し、幅広い方々に周知した。
	目黒区総合庁舎	庁舎 1 階にて、周年事業及びこれまでの歩みについて周知を図った。
	東急バス(車内吊り広告)	ホール近隣の東急バス路線に掲出した。
	東急電鉄(車内ドア上ポスター)	東急目黒線車内ドア上にポスターを掲出した。
	東急電鉄(駅貼り広告)	東急東横線の各駅に公演事業のポスターを掲示し、周知を図った。
	東急電鉄(各駅モニター)	東急電鉄全線各駅におけるモニター表示

他社媒体	新聞・雑誌広告	公演ジャンルに関係する雑誌には、複数の事業を同時に掲載し、新聞については半5段など比較的大きい枠を取り、複数の事業を同時に掲載した。
	コープサービス「ライフなび」	チケット料金を値下げし、昨年よりも多く公演チケットの販売があった。
	フラッグ掲出	地域の方々や公演来場者に周年を周知し、地域との繋がりをアピールした。
	街路灯シール	駅からホールまでの道案内を目的としたシールの貼り替えを行った。
	Yahoo!JAPAN	Web 広告として 1 週間、公演情報の告知を図った。
取材対応等	東急ケーブルテレビ	東急イツコムにて、公演情報が取り上げられ、周知を図ることができた。
	TBS、TBSラジオ等	第6回避難訓練コンサートの模様がテレビ・ラジオで取り上げられた。
	区からプレスリリース	事業終了後、区から各プレスに事業報告をリリースした。

5 その他

(1) めぐろパーシモン芸術文化ネットワークの取り組み

当財団と共催している 5 団体(目黒区東山オーケストラ、目黒区民交響楽団、目黒吹奏楽団、童謡の里めぐろ保存会、目黒区クラシック音楽家協会)が構成しているめぐろパーシモン芸術文化ネットワークは、平成 23 年 10 月に目黒区の芸術文化の振興を図ることを目的に発足し、各団体の公演ごとに他団体のスタッフを派遣し、表周りの支援を行っている。また、開館 15 周年に際しては、公演時の大ホールホワイエで各団体のこれまでの取り組みをパネルに掲示し、区民や来場者に周知した。

(2) ホールの協賛等の運営

① 賛助会

ホールの賛助会については、昨年度の 31 社、個人会員 35 人、計 90 万 5 千円の収入に対し、今年度は 28 社、個人会員 30 人、計 84 万 9 千円の収入となり、前年度より 5 万 6 千円減収になった。なお、賛助会員の特典の充実を図るため、公開リハーサルへの招待を行った。

30 年度の子どものためのワークショップ事業に対して、(公財)北野生涯教育振興会に協賛依頼を行ったところ、これまでの子どものための演劇ワークショップへの協賛金(70 万円)だけではなく、子どものためのダンスワークショップにも協賛金(70 万円)を頂けることになり、資金調達の拡充を図った。

② 協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、以下のとおり、各企業と協力関係を構築することができた。

事業名	協賛企業	協賛内容
春風亭小朝・林家たい平・春風亭昇太 新春爆笑三人会	昭和製菓(株)自由が丘蜂の家	お菓子
第 6 回避難訓練コンサート	サクマ製菓(株)	飴
パレットプログラム 2017 ダンスコース	(株)アペックス	清涼飲料水
大人のための演劇ワークショップ	(株)アペックス	清涼飲料水
TRIO from quasimode	サッポロホールディングス	ドリンク

③情報紙「アートレター」における広告料収入

今年度は昨年度に比べて 511,000 円増え、合計 1,057,000 円だった。今後も、読者に対して魅力ある情報紙「アートレター」の制作に努めていくこととする。

(3) 地域と連携した事業

① 顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成 21 年度より当初 15 店舗の協力で開始した。この制度は「パーシモンおでかけマップ」に記載されているお店に財団主催または共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られるものである。

今年度は、開館 15 周年のため「パーシモンチケ得マップ(名称変更)」のチラシをリニューアルし、また新たに 6 店舗の新規開拓を行った結果、現在 32 店舗の協力を得ている。さらに、開館 15 周年を記念し、加盟店シールを制作し、加盟している店舗に貼り、周知を図っている。なお、加盟店はホールのチラシやポスターの掲示にも協力して頂いている。

② 広報ボランティア

開館以来初めて、15 周年事業を広く周知していくことを目的とした、広報ボランティアを募集した。その結果、14 名の参加者がホール事業の宣伝をしてくれる店舗広報協力店を 17 店舗見つけてくれた。また、各種事業のチラシ・ポスターの配布、チラシの挟み込み、発送対応等を行い、ホール職員の広報活動をサポートしてくれた。さらに、ボランティア同士の交流によって、地域との繋がりを図ることができた。

第2 受託事業

1 芸術文化事業(定款第4条第1項第2号)

(1)受託事業 (2事業=16公演) *目黒区の委託を受け、各事業を実施した。

No.	内容		
1 ① ⑬	公演名	第 52 回 目黒区文化祭	
	公演日	平成 29 年 4 月 16 日（日）～ 平成 29 年 11 月 18 日（土）	
	会場	大ホール・小ホール	
	料金等	入場無料	
	概要	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施し、各芸術文化団体の活動を支援した。今年度で 52 回目を迎えた。	



【内訳】

No.	公演日	公演名	施設名	来場者
①	4月16日(日)	自主グループ(発表)	大ホール	472人
②	4月19日(水)～23日(日)	自主グループ(展示)	美術館ギャラリー	269人
③	5月6日(土)	邦楽演奏会	大ホール	492人
④	5月14日(日)	謡曲大会	小ホール	120人
⑤	5月21日(日)	民踊まつり	小ホール	180人
⑥	5月28日(日)	吟剣詩舞道大会	大ホール	60人
⑦	10月7日(土)	合唱祭	大ホール	600人
⑧	10月15日(土)	洋舞祭	大ホール	600人
⑨	10月15日(土)	民謡大会	区民センターホール	150人
⑩	10月21日(土)	音楽祭	大ホール	600人
⑪	10月28日(土)～29日(日)	華道展・茶道展	目黒区総合庁舎	180人
⑫	11月4日(土)	演劇祭	小ホール	65人
⑬	11月18日(土)	日本舞踊大会	大ホール	362人

No.	内容	
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2017 親子で楽しむオーケストラと朗読劇の コンサート
	公演日	平成 29 年 11 月 11 日（土）
	会場	中目黒G Tプラザホール
	料金等	全席自由 大人 1,000 円 子ども（4 歳～中学生）500 円
	入場者	93 人【完売】【定員 100 名】
	概要	低年齢から音楽に親しむことができる親子向けコンサート。 【出演】癒しの森おーけすとら（東京音楽大学学生有志オーケストラ）
2 ② ③	公演名	めぐろオータムアート 2017 音楽と美術のワークショップシリーズ第 6 回 Life wave, Life soundー時の波形を音の波形に
	公演日	①平成 29 年 11 月 12 日（日） ②平成 29 年 11 月 25 日（土）
	会場	①目黒区美術館ワークショップ室 ②めぐろパーシモンホール小ホール
	料金等	参加費 3,000 円（高校生以上）
	入場者	参加者 14 人【定員 20 名】
	概要	目黒区美術館との共同企画ワークショップ。自分のこれまでの人生を振り返って、 波形として表し、それを音に変換し、各自のスマートフォンで合奏した。 【講師】SPREAD 小林弘和・山田春奈（クリエイティブ・ユニット）、斉藤尋己（ 音楽家）、秋岡陽（音楽学・音楽史／フェリス学院大学長）



(2) 指定管理事業(1 事業=1 公演)

No.	内容		
1	公演名	めぐろパーシモンホール開館 15 周年記念 めぐろで第九 2017	
	公演日	平成 29 年 9 月 24 日（日）	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,500 円 A 席 2,500 円	
	入場者	来場者 1,000 人 【完売】 参加者 165 人 【定員 165 名】	
概要		開館 15 周年を記念し、区民を中心とした合唱団が参加する「めぐろで第九」の華やかなコンサート。合唱団は 388 人の応募があり、抽選で 165 名に決定し、本番まで 18 回の練習を重ねた。 本番では、世界から注目を集めるイタリア出身の若き指揮者 アンドレア・バッティストーニ、東京フィルハーモニー交響楽団と当館の公演に度々出演し縁のある実力派ソリストが集結し、「歓喜の歌」で節目の年を盛大に祝った。 【出演】アンドレア・バッティストーニ（指揮）、東京フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）、高橋絵里（ソプラノ）、富岡明子（メゾソプラノ）、与儀巧（テノール）、青山貴（バリトン）、めぐろ第九合唱団 【助成】芸術文化振興基金助成事業	



2 施設貸与・管理事業（定款第4条第1項第3号及び第4条第2項）

（1）施設の保守管理等

職員による日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設・設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、財団から目黒区に報告した。

開館してから15年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は舞台機構部品交換工事（大ホール）、大道具エレベーター部品交換工事（大ホール）を行うことができた。その他の不具合については予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。なお、長年懸案である大ホールの客席扉については区と相談等行いながら、修繕して改善したが、大ホールホワイエの遮光幕の不具合及び大ホール客席2階エレベーターの新設や和式トイレから洋式トイレへの変更については、引き続き、目黒区に要望していくこととする。

①めぐろパーシモンホール

- | | |
|--------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | オ 客席椅子保守点検 |
| イ 舞台照明保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | キ スタインウェイピアノ保守点検 |
| エ 音響保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

②中目黒GTプラザホール

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ア 音響保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|----------|----------|--------------|

（2）貸館サービス

①新規事項

- ア チケットセンターの案内表示をより分かりやすい場所に掲示し、貸館利用者より販売を依頼されたチケットの売り上げに貢献した。
- イ 大ホールホワイエに設置している舞台上を映すモニターをリニューアルし、ホワイエにいる来場者にリアルタイムで舞台の状況を鮮明に伝えられるようにした。

②継続事項

- ア チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は昨年度よりも大幅に多い41件の依頼があった（昨年度は22件）。
- イ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化して、毎月開催した。
- ウ 貸館の利用毎に利用者アンケートを実施する等して、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。
- エ 顧客満足度による評価

年度	29年度	28年度	27年度
総件数	175件	202件	198件
評価	4.00	4.10	4.12

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の5段階評価（5点満点）をしていただき、回答を集計している。

(3) 職場訪問等の受け入れ

①学校の受け入れ

区立中学校等の職場訪問や職場体験に協力した。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であるが、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらった。

N o	期 間	学校名
1	8月22日(火)～8月24日(木)【3日間】	区立小学校教諭(1人)
2	11月28日(火)～11月30日(木)【3日間】	区立第十中学校(2人)
3	1月17日(水)～1月19日(金)【3日間】	区立中央中学校(2人)
4	1月24日(水)～1月26日(金)【3日間】	区立第八中学校(3人)
5	2月6日(火)【1日間】	私立トキワ松学園(10人)

②視察の受け入れ

他自治体等の視察に積極的に協力した。

N o	期 間	団体名
1	6月11日(日)	中国北京市東城区(6人)
2	7月7日(金)	東京都世田谷区(5人)
3	11月27日(月)	東京都豊島区(10人)
4	12月9日(土)	東京都豊島区(2人)
5	3月27日(火)	中国北京市東城区(6人) 韓国ソウル特別市中浪区(5人)

③インターンの受け入れ

桜美林大学とは、財団事業における公演やワークショップの連携を図っている。

N o	期 間	団体名
1	6月23日(金)～7月29日(土)【14日間】	桜美林大学(1人)

(4) 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置(13台)手数料での収入確保に努めたが、収益は前年度と比較して減少した。

補足資料

1 利用実績

名 称	年 度	開館 日数	全体利用率			時間帯利用率			曜日別利用率	
			予約可能 件数 (件)	利用 件数 (件)	利用率 (%)	午前 (%)	午後 (%)	夜間 (%)	平日 (%)	土・日 祝日 (%)
大ホール	29	358	839	707	84.3	91.9	89.4	72.7	79.1	92.3
	28	358	876	688	78.5	86.5	85.7	64.7	71.5	89.5
小ホール	29	358	921	785	85.2	84.8	88.3	82.7	81.2	92.3
	28	358	876	769	87.8	86.4	91.1	85.6	83.2	95.5
中目黒 GT プラザ ホール	29	354	978	930	95.1	86.7	98.2	100.0	95.5	94.3
	28	359	1,007	961	95.4	90.4	95.8	100.0	95.5	95.4

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室等 諸室		中目黒 GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベン ション	91	12.9	123	15.7	300	6.3	73	7.9	587	8.2
クラシック	197	27.9	325	41.4	1,666	35.1	255	27.4	2,443	34.1
ポピュラー	58	8.2	79	10.1	303	6.4	29	3.1	469	6.6
演 劇	5	0.7	36	4.6	83	1.8	1	0.1	125	1.7
ミュージカル	30	4.2	0	0.0	53	1.1	3	0.3	86	1.2
舞 踊	238	33.7	75	9.5	1,127	23.8	413	44.4	1,853	25.9
伝統芸能	37	5.2	23	2.9	118	2.5	11	1.2	189	2.6
映 像	5	0.7	6	0.8	5	0.1	0	0.0	16	0.2
その他	46	6.5	118	15.0	1,087	22.9	145	15.6	1,396	19.5
合 計	707	100	785	100	4,742	100	930	100	7,164	100
合計 (28 年度)	688	100	769	100	4,755	100	961	100	7,173	100

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室等 諸室		中目黒 GT プラザホール		合 計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用 区内	51	7.2	138	17.6	1,163	24.5	174	18.7	1,526	21.3
一般利用 区外	327	46.3	368	46.9	1,723	36.3	451	48.5	2,869	40.0
芸文登録 団体	43	6.1	99	12.6	891	18.8	223	24.0	1,256	17.5
公的団体	25	3.5	17	2.1	58	1.2	1	0.1	101	1.4
財団	182	25.7	109	13.9	649	13.7	25	2.7	965	13.5
目黒区	79	11.2	54	6.9	258	5.5	56	6.0	447	6.3
合 計	707	100	785	100	4,742	100	930	100	7,164	100
合計 (28年度)	688	100	769	100	4,755	100	961	100	7,173	100

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハー サル室 等諸室	中目黒GT プラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計	利用者	入場者	関係者	計	
4月	16,997	1,948	18,945	3,979	1,106	5,085	1,751	3,711	955	4,666	30,447
5月	15,112	2,366	17,478	5,928	1,482	7,410	1,874	3,643	876	4,519	31,281
6月	20,114	2,379	22,493	3,543	1,453	4,996	2,603	4,884	997	5,881	35,973
7月	15,896	3,855	19,751	4,738	1,042	5,780	1,827	4,523	1,163	5,686	33,044
8月	17,146	2,528	19,674	4,206	838	5,044	1,704	3,214	1,225	4,439	30,861
9月	12,081	2,156	14,237	3,498	1,248	4,746	2,272	3,075	1,267	4,342	25,597
10月	18,669	5,331	24,000	4,559	1,512	6,071	1,890	3,194	1,480	4,674	36,635
11月	15,213	2,407	17,620	3,607	1,355	4,962	2,409	4,054	1,207	5,261	30,252
12月	12,879	3,952	16,831	4,498	1,199	5,697	1,897	3,306	1,133	4,439	28,864
1月	4,743	439	5,182	2,632	1,072	3,704	2,051	2,540	1,024	3,564	14,501
2月	16,914	5,974	22,888	5,172	576	5,748	1,586	3,293	846	4,139	34,361
3月	17,787	3,672	21,459	4,513	1,761	6,274	1,492	3,378	1,042	4,420	33,645
合計	183,551	37,007	220,558	50,873	14,644	65,517	23,356	42,815	13,215	56,030	365,461
28 年度	162,257	37,339	199,596	48,805	13,680	62,485	25,135	43,811	10,052	53,863	341,079

5 利用料収納実績

施設名 ※数字は年度		施設利用料	特殊器具利用料	合 計
めぐろ パーシモン ホール	29	122,334,200	25,229,450	147,563,650
	28	118,924,910	25,458,060	144,382,970
中目黒G Tプラ ザホール	29	14,589,800	882,550	15,472,350
	28	14,390,400	857,900	15,248,300
合 計	29	136,924,000	26,112,000	163,036,000
	28	133,315,310	26,315,960	159,631,270

※利用料収納については、会計上は当該年度利用分と次年度利用分を分けて計上するが、本表では収納日の年度の合計とした。

6 還付金実績

区分	施設利用料	特殊器具利用料	合計	28年度合計 【前年度実績】
29年度納付分に対する還付金	13,130,800	0	13,130,800	【28年度】 9,491,074
28年度納付分に対する還付金	3,173,812	0	3,173,812	【27年度】 5,777,337
合 計	16,304,612	0	16,304,612	15,268,411

7 施設見学会開催実績

開催月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	大ホール	2	2	2	1	2	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2	1
参加人数		15	41	29	15	13	52	16

開催月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	28年度 合計
見学回数	大ホール	2	2	1	1	2	21	24
	小ホール	2	2	2	2	2	23	24
参加人数		30	9	14	6	7	247	288

8 個別見学対応実績

開催月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
見学回数	8	6	13	10	16	16	7

開催月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	28 年度 合計
見学回数	20	9	14	12	12	143	149

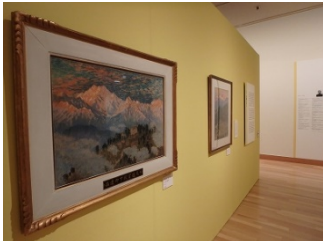
第 1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	よみがえる画家―板倉鼎・須美子展		 展示風景(展示室 A)  展示風景(ワークショップ室)  ①記念講演会風景  ②ギャラリーツアー風景
	会 期	4 月 8 日(土)～6 月 4 日(日)(50 日間)		
	観覧料	一般 800(600)円、大高生・65 歳以上 600(500)円、中小生無料、 ()内は 20 名以上の団体料金、障がい者は半額・その付添者1名は無料 ・開館 30 周年を記念して区民割引を実施、目黒区内在住、在勤、在学の方は受付で証明書類を提示すると団体料金(他との併用不可) (* 下線部は各展覧会共通事項の為以下省略)		
	入館者数	5,943 人		
	展示概要	1920 年代、共にパリに留学し魅力的な作品を数多く残しながら、惜しくも早世した板倉鼎(かなえ)・須美子夫妻。本展では二人の画業を回顧するとともに、当館所蔵の同時代にヨーロッパへ留学・滞在し、夫妻と親交のあった画家たちが描いた作品や関連資料等をあわせて展示して、当館が開館以来、収蔵のテーマのひとつとしてきた戦前期の「画家の滞欧」の周辺にもふれた。 第一章では、中学校時代の作品をはじめ第三回帝展入選作(1921 年)、そしてアメリカ経由で渡仏した際に描いたハワイの風物や、模索を重ねてサロン・ドートンヌやサロン・ナショナルなどのサロンへの出品も果たしたパリでの画業など、短期間で作風を大きく変えていった鼎の作品を紹介。第二章では、鼎の作品でしばしばモデルをつとめ、自らも鼎の指導によりパリで絵画制作を始めた妻・須美子の作品を紹介。夫と二人の子を相次いで失い自らも早世した須美子の短いが魅力的な画業をふりかえった。第三章では、早世した板倉夫妻をめぐる画家や文学者を紹介。著名なロシア文学者で須美子の父・昇曙夢(のぼり しょうむ)や与謝野鉄幹・晶子夫妻、そして鼎の師の堀江正章・岡田三郎助、友人の岡鹿之助や伊原宇三郎ら同時代の画家たちの作品によって、時代の雰囲気や相互の関係などを考察した。		
関連催事	①	記念講演会「板倉鼎と須美子、二人のタイムカプセル」 講師: 田中典子(松戸市教育委員会 美術館準備室) 開催日: 4 月 29 日(土・祝) 参加者: 48 人 内容: 田中氏は、長年に渡り、松戸市ゆかりの画家・板倉鼎、須美子夫妻の作品をはじめ、手紙・写真などの資料調査に関わってきた。本講演では、この調査の概要や夫妻の作品の特質について、貴重な画像を用いて分かりやすく語っていただいた。講演会終了後も積極的な質問が相次いだ。		
	②	ギャラリーツアー 開催日: ア 4 月 15 日(土) 参加者: 20 人 イ 5 月 6 日(土) 参加者: 26 人 ウ 5 月 13 日(土) 参加者: 14 人 ナビゲーター: ア、イ 猪狩智子氏(東京藝術大学)、ウ 山田敦雄(当館学芸員) 内容: ナビゲーターが参加者とともに展示会場をまわり、作品とその周辺、板倉夫妻と昭和初期以降の日本近代美術の大きな流れとのかかわりを念頭に、作品と関連資料、また板倉夫妻の絵画の特質などについて触れた。		
	広報実績	・丸山ひかり「高め合った夫婦の画業」朝日新聞(5 月 23 日) ・新美術新聞(5 月 1 日・11 日合併号) ・日曜美術館アートシーン 5 月 7 日放映(NHK Eテレ) ほか		

(2)	展覧会名	ヨーロッパの木の玩具(おもちゃ)ードイツ・スイス、北欧を中心に		
	会 期	7月8日(土)～9月3日(日)(50日間)		
	観覧料	一般 700(550)円、大高生・65歳以上 550(400)円、中小生無料		
	入館者数	11,741人		
	展示概要	1987年の開館以来 30年にわたって、スイス・ネフ社製品をはじめ、良質な木でつくられた国内外のトイを収集し、子どもから大人までを対象に教育普及活動が続けてきた。本展では、木製玩具の魅力を「みる」「遊ぶ」「知る」の3つの視点から紹介した。 「みる」では、主に戦後、玩具メーカーによって作られた木製玩具を「手で遊び・考えること」をテーマに、積木やパズルなど 400点余の作品によって紹介した。併せて、小規模な工房制作によるクラフトの玩具 200点余も展示した。現在のヨーロッパにおいて、伝統的な木製玩具生産が最も盛んなドイツ・エルツ地方で作られたものを中心に展観。さらに、この地方の小村ザイフェンに独特の技術であるライフエンドレーエン(ろくろに固定した木の輪を削り出し、それを分割して複数の動物などを作り出す木工ろくろ挽きの技術)についても触れた。「遊ぶ」では、会期中、実際に展示したものと同種の、手触りの良い玩具で遊べるプレイコーナーを設置した。「知る」では、「みる」で示したライフエンドレーエンの第一人者であるクリスチアン・ヴェルナー氏をザイフェンから招いて貴重な技術を披露してもらい、実演終了後は展示室にて映像を公開した。 本展を通じ、当館が大切にしてきた「手で遊び・考えること」で、ともすれば受け身になる最近の「遊び」から、自分の手で世界を広げていくことを考えてもらう機会になった。		
関連催事	①	開館 30 周年記念ワークショップセミナー 「ライフエンドレーエンでつくる動物たち」 講師:クリスチアン・ヴェルナー、アンドレアス・ヴェルナー (クリスチアン・ヴェルナー ラIFEエンドレーエン工房) 開催日:7月15日(土)、16日(日)、17日(月・祝)、19日(水) ア 11:00～12:00 イ 13:00～14:15 ウ 14:30～15:45 エ 16:00～17:00(公開制作) 参加者:延べ 1,475人 内容:ドイツ・エルツ地方の玩具作りの中で、世界に類を見ない木工ろくろ挽きの技術、ライフエンドレーエン。この技法の第一人者、クリスチアン・ヴェルナー氏が来日し、日本の美術館では初めての实演を 4 日間に渡って行った。来館者は初めて見る技に驚きの声をあげていた。		
	②	大人のための美術カフェ 開催日: 8月26日(土) 参加者:18人 ナビゲーター:加藤絵美(当館学芸員) 内容: エルツ山地で作られる木製玩具について話した。		
	③	講演会「フレーベルの恩物(おんぶつ)について」 講師: 荘司泰弘(常磐会学園大学教授) 開催日: 8月27日(日) 参加者:33人 内容:フレーベルの恩物研究の第一人者である荘司氏が、恩物の歴史や遊び方などについて、分かりやすく説明した。最後は会場に用意した荘司氏自作の恩物を、参加者とともに組み立てながら質疑を行い、活発に意見を交換していた。		
広報実績	・「欧州の木製おもちゃ紹介 600点、東京・目黒区美術館で展覧会」8月22日読売新聞 ・『PEN』7月15日号、『tocotoco』7月15日号、『月刊美術』8月号、『東京人』8月号、『天然生活』8月号、『ブレーン』9月号 ほか			

(3)	展覧会名	開館 30 周年記念 日本パステル畫事始め ―武内鶴之助と矢崎千代二、二人の先駆者を中心に	
	会 期	10 月 14 日(土)～11 月 26 日(日)(38 日間)	
	観覧料	一般 1000(800)円、大高生・65 歳以上 800(600)円、中小生無料	
	入館者数	8,213 人	
	展示概要	顔料とわずかな接着剤を棒状に固め、「美しい直接的な発色」と乾燥時間のない「速写性」という特性を持つパステル。明治期に日本に伝えられるも、その魅力や可能性はいまだ多くの人に知られているとは言い難い。そこで、本展では、このパステルを追求し、使いこなした二人の画家、武内鶴之助(1881-1948)と矢崎千代二(1872-1947)に焦点を当てた。そしてパステル国産化の過程、他の日本人画家や、日本人にもなじみ深い海外作家の作品も合わせ、パステルの魅力と可能性を紹介した。 展示室 A では、雲の連作をはじめ当館で 40 点以上所蔵する武内、そしてアジア・ヨーロッパ・南米など世界各地へ赴き、その風景と人々の暮らしを描き続けた矢崎の作品を紹介した。展示ロビーでは、20 世紀初頭まで輸入品のみであったパステルの国産化について振り返った。矢崎の働きかけに応じ、王冠化学工業所が開発した「ゴンドラパステル」は、短く使いやすいのみならず、日本の風土に合う色が揃った、初の国産品として重要である。 展示室 B では、川村清雄や小林千古、鹿子木孟郎ら他の日本人画家のパステル作品も展示した。展示室 C では、ドガやルドンなどを含め、海外におけるパステル画の歴史について紹介した。 会期中は講演会やパステル画の制作体験を通じ、画材の歴史や性質について、より良く知ってもらう機会を多数設けた。	
	関連催事	①	講演会「矢崎千代二、旅とパステル」 講師：横田香世(京都府文化芸術振興課 専門幹) 開催日：11 月 4 日(土) 参加者：37 人 内容：本展の監修を行った横田氏による、矢崎千代二についての講演。旅で出会う風景を速写するためにパステルに求めたこととその画法について、スライドを交えて、分かりやすく語った。
		②	講演会「画材の博物誌―パステルとパステル画」 講師：森田恒之(国立民族学博物館 名誉教授) 開催日：11 月 5 日(日) 参加者：40 人 内容：『画材の博物誌』などの著者である森田氏が、西洋から始まるパステルの歴史や、日本でパステルの需要についてなど、画材という切り口から詳細に語った。
		③	対談&ギャラリートーク&パステル体験 セミナー 「ゴンドラパステル製造 100 年―画材としてのパステル事始め」 講師：山登大輔(王冠化学工業所)聞き手：山田敦雄(当館学芸員) 開催日：10 月 29 日(日) 参加者：14 人 内容：1919 年、日本で最初のソフトパステルメーカーである王冠化学工業所の山登氏が、対談を通じてパステルの製造方法や歴史について語った。またギャラリーツアーやパステルの描画体験も行い、参加者に理解を深めてもらった。
		④	対談&ギャラリートーク&パステル体験 ワークショップ 「パステルで描いてみよう―入門編」 講師：常世隆(画家・国画会会員) 開催日：11 月 22 日(水) ア 11:00～13:30 イ 15:00～17:30 開催日：11 月 25 日(土) ウ 15:00～17:30 参加者：ア 18 人 イ 20 人 ウ 18 人 内容：画家の常世氏が、色鮮やかなパステルの特徴を説明し、その魅力を短時間で体験するワークショップ。武内・矢崎が主題





展示風景(展示室 A)

展示風景(展示ロビー)

展示風景(ワークショップ室)





①講演会「矢崎千代二、旅とパステル」

②講演会「画材の博物誌―パステルとパステル画」

③対談&ギャラリートーク&パステル体験 セミナー

		にした「風景」をテーマとし、森や溪谷、海岸など数種類の風景写真をもとに、参加者はパステル画を制作した。	
		⑤ 体験コーナー「パステルってどんな画材？」 講師：清瀬ゆり亜（ミュージアムエデュケーター） 開催日：10月31日（火）、11月11日（土）、14日（火）、19日（日）、23日（木・祝）、26日（日） 各日 14:00～16:00（11日は15:00～16:30） 参加者：延べ284人 内容：展示鑑賞の合間に、ワークショップ室に用意したパステルやオイルパステルに実際に触れて体験するもの。初めて描いたという参加者も多かったが、描いたことで作品の見方が随分変化したようだった。	 ④対談&ギャラリートーク&パステル体験ワークショップ
		⑥ 学芸員によるギャラリートーク 講師：山田敦雄（当館学芸員） 開催日：ア 10月28日（土）参加者：15人 イ 11月11日（土）参加者：65人 内容：武内鶴之助、矢崎千代二ほかの画業について、興味深いエピソードを交えつつ作品の前で紹介した。	 ⑤体験コーナー
		⑦ 大人のための美術カフェ 講師：山田敦雄（当館学芸員） 開催日：11月18日（土）参加者：25人 内容：日本でのパステルの普及に尽力した矢崎千代二の著書『パステル畫法』をもとに、パステル画について語った。	
		⑧ 目黒区美術館「日本パステル畫事始め展」関連イベント 目黒区美術館ミュージアムコンサート 出演：上野由恵、片爪大輔、梶原一紘（フルート） 開催日：11月10日（金）参加者：51人 内容：会期中、展示室内で、展覧会内容に合わせたコンサートを行った。	
	広報実績	・山田敦雄「日本パステル畫事始め展⑤⑥⑦」11月10、11、12日読売新聞 ・小川雪「西洋画材に挑んだ日本の先駆者二人展 目黒区美術館」11月14日朝日新聞 ・「静かな絵画の実験」11月3日日本海新聞、4日山形新聞、6日東奥日報ほか ・「よみがえる！近現代の異才たち」『月刊美術』9月号 ・日曜美術館アートシーン 11月5日放映（NHK Eテレ）ほか	
	評価実績	一般社団法人日本アート評価保存協会 第5回秀逸企画賞を受賞（平成30年2月20日表彰式）	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【木と遊ぶ】

「ヨーロッパの木の玩具—ドイツ・スイス、北欧を中心に」展と関連する4回のワークショップを同展中、多彩に展開。各回とも、木にまつわるプログラムを開催した。参加者には、木製の積木やパズル、人形などの展示品を「みる」とあわせて、実際に手を動かしながら、その魅力を実感して頂いた。

①	講座名	ワークショップ 1／子ども対象 とびだそう！ひろげよう！積木の凸凹王国	
	実施日時	7月29日(土)、30日(日) 10:30～16:30 ※2日間コース	
	講師	メグロアソビ冒険隊(中村良子、山本桃子ほか)	
	対象・定員	小学1年生以上6年生まで 30名(抽選)	
	参加者数	31人[申込者数41人]	
	内容	ダイナミックに全身で取り組む子どものためのコースでは、まず当館所蔵のトイを用い、積み並べる競争をしてウォーミングアップ。その後グループに分かれ、木箱に雲形の板を渡し、四角や丸、赤や青などカラフルで様々なかたちの積木を積んで、想像力溢れる王国を作り上げた。	
②	講座名	ワークショップ 2／子ども、大人対象 木をみがいてつくろう、手の中のたからもの	
	実施日時	8月5日(土)、6日(日) 10:30～16:30 ※2日間コース	
	講師	森田洋生(インテリアデザイナー)	
	対象・定員	小学4年生以上中学生まで14名、高校生以上6名(申込み順)	
	参加者数	10人[申込者数14人]	
	内容	近くの公園で木の話をした後、参加者が面白いと思う形をスケッチ。そして手のひらサイズの杉(針葉樹)か楠(広葉樹)から選んで金やすりと紙やすりで磨いて好きな形に整え、美しい木目を浮かび上がらせた。最後はオイルを塗って仕上げた。子どもたちは初めて使う金やすりに苦戦していたが、大人に使い方を聞くなどで次第に慣れたように、参加者が互いに助け合うプログラムとなった。	
③	講座名	ファミリーワークショップ 手がひろがる物語 ものがたり 一つつろう☆木っ端でのりもの	
	実施日時	8月12日(土)、13日(日) 13:00～16:00 ※2日間コース	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム)	
	対象・定員	4歳以上の2名1組の家族12組 (申込み順) (未就学児が参加の場合は、大人同伴)	
	参加者数	17組34人[申込33組]	

板とカラフルな積木から、想像力あふれる王国が出来上がった。

杉と楠の木をみがいて、手のひら大の木の玉を作り上げた。

様々な形の木っ端を組み合わせて、どんなのりものをつくらうか検討中。最後はのりものの周りの風景も作り上げた。

	内容	木材を切り落とした残りの部分「木っ端」を使って、のりものを作るプログラム。1 日目は滑らかな木っ端を積み並べるなどして遊び、2 日目は動物、車、宇宙船、そして見たこともない自分だけののりものを作り上げた。最後は残った木っ端で海に浮かぶ島や橋、宇宙基地などの景色を作り、そこにのりものを並べ、部屋中に広がる大きな風景を出現させた。	 完成の様子、皆で協力した。
④	講座名	トイパフォーマンス	 《アークレインボー》を使っののパフォーマンス後、子どもたちも一緒に遊んだ。
	実施日時	8 月 23 日(水)、30 日(水)、9 月 1 日(金) 11:00～12:00 8 月 27 日(日)、9 月 2 日(土)、3 日(日) 午前の部 11:00～12:00、午後の部 15:00～15:30 (各日共通)	
	講師	清瀬ゆり亜(ミュージアムエデュケーター)	
	対象・定員	展覧会来場者	
	参加者数	延べ 560 人	
	内容	展覧会に来た方ならどなたでも参加できる無料のプログラム。展覧会にも出品している《ミスターステッパー》《とびだし人形》などでのパフォーマンスを行った後、《ネフスピール》《アングーラ》《アークレインボー》などをも使って参加者と一緒に遊んでトイに親しんだ。手品のように次々に現れる形に、参加した子どもたちは驚きの声をあげていた。	

(2) ワークショップ春 【美術を見る・知るⅢ】

目黒区美術館では、美術表現をめぐる制作と鑑賞を掘り下げて経験できるワークショップを実施してきた。こどものコースでは身体を使った体験を主とした内容を、大人のコースでは、専門性の高い講座を組み込んで、様々な角度から美術を見て、知ることに踏み込んだ。

①	講座名	こどものためのワークショップ ひゃっきやこう 百鬼 夜行 一紙から生まれるようかい大行進！	 妖怪スーツで美術館の周りを行進した。
	実施日時	3 月 10 日(土)、11 日(日) 10:30～16:30 ※2 日間コース	
	講師	メグロアソビ冒険隊(中村良子・山本桃子・澤村幸子ほか)	
	対象・定員	新小学 1 年生から中学生まで 20 名	
	参加者数	26 人(申込者数 56 人)	
	内容	参加した子どもたちは、まずは全身を使い、身近にある紙をくしゃくしゃにしたり開いたりして思い切り遊んだあと、自分の影を映して型紙を作成した。そして想像力を働かせて、紙や布で飾り付けをし、自分だけの妖怪スーツを作り上げた。最後はこれを身に付けて、区民センターなど美術館の周りをみんなで大行進！保護者や近隣の方々にも、子どもたちの制作の成果をご覧いただいた。なお当初から申込者数が非常に多く、当館のワークショッププログラムへの期待を示す結果となった。	

②	講座名	おとなのためのワークショップ 花を描く—見ることと描くことのあいだのやりとり	 バラ、ユリ、菊などの花を観察して、普段見過ぎてしまっているものを描く。
	実施日時	2月24日(土)、3月3日(土) 10:30～16:30 ※2日間コース	
	講師	山本品(画家)	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	20人(申込者数 31人)	
	内容	見慣れたはずの「花」に、普段は見過ぎてしまっているものを探し、描き出すプログラム。最初に見えるままに描いていた参加者も、講師と対話し、また展示室の抽象作品を見ることで視点が変化したようだ。また途中、講師が制作しているプロセスを紹介するなど、描くためのヒントも提示され、参加者はこれを試行。結果として、各々が興味を持った部分を追求し、当初とは全く異なる絵を制作することができた。	
③	講座名	美術館を楽しもう！ MMAT(目黒区美術館)の建物探訪—学芸員編	 機械室にて山田学芸員の説明を聞く。
	実施日時	2月17日(土) 14:00～16:00	
	講師	山田敦雄(当館学芸員)	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	16人(申込者数 17人)	
	内容	開館当時を知る山田学芸員が、当館を案内する建物ツアー。まずは30年前を振り返り、建設時や開館記念展の動画や写真を見てから、外観や展示室、そして普段は見ることのできない収蔵庫や機械室などのバックヤードを見学した。参加者は熱心に説明に耳を傾け、また質疑も絶えないなど、充実した内容となった。	
④	講座名	秋岡芳夫全集 5 KAKの仕事関連プログラム 秋岡芳夫 DOMA 探訪	 展覧会を鑑賞後、かつてデザイナーなどが集まった DOMA を訪問した。
	実施日時	2月25日(日) 13:00～16:00	
	講師	降旗千賀子(当館学芸員)	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	16人(申込者数 19人)	
	内容	同時期に開催した「秋岡芳夫全集 5」展の関連プログラム。まずは当館の展示室にて、目黒ゆかりの工業デザイナー秋岡芳夫らが結成したデザイングループ KAK のデザインの仕事を見た後、近くにある秋岡氏のアトリエ・DOMA に移動。かつてデザイナーなどが集った建物の外観は勿論のこと、内部をも見学し、さらに秋岡氏の家族や秘書の方にお話を伺うことができた。	

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	ヨーロッパの木の玩具展	下目黒小学校	7月13日(木)	5年生	55人
2		向原小学校	7月19日(水)	3年生	58人
3		田道小学校	7月19日(水)	4年生	74人
4	日本パステル画事始め展	五本木小学校	10月17日(火)	4年生	70人
5		下目黒小学校	11月21日(火)	4年生	53人
6	コレクション展+秋岡5展	油面小学校	3月2日(金)	6年生	74人

(参加者計:384人)

(2) アウトリーチ

目黒区美術館にとどまるだけでなく、館外での美術館周知と教育を兼ねた活動。当館の教材トイコレクションをもとに、独自のプログラムで児童館の子ども達とのコミュニケーションを図るなどした。

①	講座名	つみ木でつくろう お花ばたけ	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	5月13日(土) 13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象・定員	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者	48人(大人15人/小学生18人/未就学児童15人)	
	内容	区民センター児童館で毎年開催される春のプログラム。児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶという内容が基本となっている。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクションボランティアチームが主体となって実施している。今回は、赤・青・緑とカラフルで美しいトイの色に注目し、大まかに色ごとに分けた積木を花に見立て、積んだり並べたりしながら大きなお花ばたけを作り上げる内容とした。そして最後に、じょうろに見立てた紙コップで水やりをし、積木がより花らしくみえるよう工夫した。リピーターも多い本プログラムは、地域に根付き、定着している。また、児童館と美術館が連携し、双方の新規利用者を開拓する機能も担っている。	
			実施風景
②	講座名	にじいろの王国をつくろう！	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクションボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	11月25日(土)13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
			実施風景

	参加者数	35 人(大人 13 人／小学生 6 人／未就学児童 16 人)
	内容	区民センター児童館で実施を重ねている積木で遊ぶ冬のプログラム。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクションボランティアチームが主体となって実施した。まずは赤・黄・青・緑のチームに分かれ、お互いに協力しながら、自分たちのチームカラーのトイを積んで並べ、その速さを競うゲーム「ミッション・イン・ネフスピール」を行った。ゲームで身体が温まったあとは、トイでできた壁の間に、さらに紫や黄緑など中間色のトイを、虹色のグラデーションを作るように並べていき、参加者が思い思いの王国をつくり上げていった。参加者には、アウトリーチのリピーターが増え、子どもとともに参加した大人も手を動かして主体的に参加する人が増えてきており、プログラムの精度の高さが、期待以上の効果をもたらしているといえる。

(3) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和 41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム。

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー	
	講師	目黒区美術館 建築ボランティア	
	内容	【通常コース】【和室集中コース】は、建築ボランティアの個性を活かした、多様な切り口で毎年人気が高い。今年度は【入門コース】【英語コース】を開設。英語のコースでは、留学生や建築研究者が参加、積極的なやりとりがみられた。	
	開催日 (各日 14:00 ～16:00)	① 4 月 21 日(金)	87 人
		② 4 月 30 日(日)	82 人
		③ 5 月 12 日(金)	82 人
		④ 5 月 20 日(土)	92 人
	対象・定員	中学生以上、各回 70 名 (申込み順)	
	料金等	参加費:500 円	
	参加人数	延べ 343 人	



英語コース ツアー風景

(4) 館長美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の現地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した貴重な数々の画像とともに、仏教関連遺跡や美術について、解りやすく語るプログラム。

① ③	講座名	目黒区美術館館長トークⅡ インドと周辺の世界遺産をめぐる
	講師	秋山光文(当館館長)
	内容	昨年に引き続き館長による美術講座の第二弾。今回は「バーミヤン渓谷―失われた大仏をめぐる」「エローラ石窟カイルーサナート寺―岩山から切り出されたヒンドゥー寺院」「タージ・マハル廟 王妃のための愛の証―インド・イスラム美術の

		粹」と3つのテーマを設け、インドとアフガニスタンの世界遺産と美術について語った。近隣だけではなく少し離れた地域の方々からも申し込みがあり、また連続して参加する受講者も多く見られ、関心の高さが窺われた。	
	開催日	① 8月23日(水) 18:30～19:45 45人[申込者数52人] ② 8月30日(水) 18:30～19:45 55人[申込者数69人] ③ 9月2日(土) 14:00～15:30 59人[申込者数74人]	
	対象・定員	高校生以上各回50名(申込み順)	
	参加者数	延べ159人	



第2回 講座風景

(5) デザインキャンプ

今年で7回目となるハーマンミラージャパン株式会社との共同企画は、近年人気のプログラムとして定着してきた。

講座名	イームズの世界を楽しもう！	
開催日	3月18日(日) 10:30～16:30	
実施場所	目黒区美術館	
講師	前澤恵子(ハーマンミラージャパン株式会社) 降旗千賀子(当館学芸員)	
対象・定員	高校生以上10名、新小学4年生以上の親子2名1組の5組	
参加者	7人(申込者数14人)	
内容	当初企画「こんな椅子があったらいいな」が講師都合により延期になり、当館が所蔵するチャールズ&レイ・イームズが1950～70年代に制作した16mmフィルムを中心に構成するプログラムに変更した。 まずはイームズのシェルチェアを観察しつつハーマンミラー社の企業史を学び、そのユニークなデザインの特徴を参加者の間で共有した。そして当館が所蔵するイームズ16mmフィルムコレクションから、椅子に関する映画やおもちゃを使った映画『パレード』『パワー・オブ・テン』などを鑑賞した。そのあとは、イームズの「ハウス・オブ・カード」で遊んだりしながら、イームズの世界に浸った一日を過ごした。	



「ハウス・オブ・カード」で遊ぶ参加者

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。29年度は11人の学生を受け入れた。

【29年度受入実施校】

多摩美術大学 3、埼玉大学、尚美学園大学、首都大学東京、聖心女子大学、専修大学、日本女子大学、武蔵野美術大学、和光大学 各1人

(2) 広告事業等(広報一覧については後掲「補足資料4」(80頁)参照。)

① 広報事業

開館30周年広報として以下(1)～(4)を行った。

- (1) 29年度末に制作委託した30周年記念ロゴマークのステッカーを館内外各所に貼った他、ロゴシールを封筒、職員名刺、職員名札等に貼るなどして30周年をアピールした。
- (2) 開館30周年記念グッズとしてオリジナルクリアファイル2種と多色芯鉛筆を作成し、関係者、来館者(一部、メルマガ会員等)への配付を行った。
- (3) 展覧会事業広報年間一括委託を実施し、はじめてフェイスブックを活用した広告掲載を行った。
- (4) 「日本パステル畫事始め展」は開館30周年記念展ということもあり、朝日新聞、東京新聞で全五段広告(横382mm×縦170mm)の掲載を行った。

そのほか通常業務として各展覧会やワークショップ等の広報については、当館ホームページ、めぐろ区報、目黒区ホームページを活用し、併せて展覧会ごとにプレスリリース(約300件)、ポスター・チラシの発送(約800件)、近隣商店会(7商店会)へのチラシ配付協力依頼などを行った。また、有料広告としては、上述の広報年間一括委託の中で「板倉鼎・須美子展」、「ヨーロッパの木の玩具」において、新聞広告掲載を実施したほか、「ヨーロッパの木の玩具」「日本パステル畫事始め」においてデザイン関係者に強力なブレーンを持つ業者に広報依頼を行い、デザイン各誌、SNSやインスタグラム等を駆使し多方面からの広報を行った。

都営バスの広告代理店と年間契約し、都営バス天吊り広告を開始した。

美術館本館入口に設置している展覧会の年間ラインナップ看板のデータを加工したものを使用して、PRを行った。

24年度から、「高速メール配信 すぐメール」を採用し、メルマガ会員の募集をはじめた。展覧会チラシにQRコードを印刷し、専用のチラシを作成して会員の募集した結果、登録は327件に達した。(平成30年3月31日現在)。メルマガ会員登録者には企画展情報や各種催事・講演会・区民ギャラリーの空き情報を配信した。

22年度よりスマートフォンのアプリ「ミューぼん」事業に協力を開始し、29年度は88人の利用があった。

区の文化・交流課の協力を得て、8月1日(火)から14日(月)まで目黒区総合庁舎西口ロビーにおいて目黒区美術館の活動内容をパネルで紹介した。(後掲)

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

29 年度も 28 年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。実行委員会が、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

28 年度は「高島野十郎展」会期で共通入館券の売れ行きが好調(340 冊)だったため、例年の倍以上の売り上げとなったが、29 年度は例年並みに戻る結果となった。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
29年度	80館	193冊 (35,675冊)	3,966人 (241,103人)
28年度	79館	429冊 (35,027冊)	5,152人 (238,644人)

* 上段は目黒区美術館、()内は全体数[参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計]

③ 目黒区総合庁舎西口ホール 目黒区美術館広報展示

目黒区民を主な対象とし、当館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動をパネル仕立てで展示する広報活動を、例年に引き続き行った。(平成 29 年 8 月 1 日(火)～14 日(月))



④ 報告書作成

展覧会やワークショップについての報告を、ミュージアムシートとして発行した。

No.15 「よみがえる画家 板倉鼎・須美子展」平成 29(2017)年 4 月 29 日発行

No.16 「ヨーロッパの木の玩具—ドイツ・スイス、北欧を中心に」平成 29(2017)年 11 月 30 日発行

No.17 「村野藤吾建築ネットワーク 2017」平成 30(2018)年 2 月 20 日発行

No.18 「特集展示 秋岡芳夫全集 5 KAK の仕事—河 潤之助・金子 至とともに／目黒区美術館 30 周年コレクション展 ひろがる色と形—1950-60 年代の抽象表現から」平成 30(2018)年 3 月 26 日発行

No.19 「開館 30 周年(1987→2017)目黒区美術館、この 1 年」平成 30(2018)年 3 月 30 日発行

第2 受託事業(定款第4条第2号)

1 指定管理事業展覧会

子どもたち展は、統合で学校数が減る中、目黒区の子どもたちによる表現活動の成果を、学校と地域を結びつける展示として、美術館という場を機能させながら、連携のもと例年通り実施できた。

(1)	展覧会名	めぐろの子どもたち展	 小学校図工展示室の学校見学風景 (展示室 A)
	会 期	平成 30 年1月 17 日(火)～2 月 1 日(水)(14 日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	9,117 人	
	展示概要	目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示し、また子どもたちの鑑賞教育の場としても機能している。教職員による展示は、子どもたちの作品を鑑賞するだけではなく、保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を、互いに理解する機会として長きにわたりその役割を果たしている。 今回は、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」を同時開催した。 作品数:3,722 点	

(2)	展覧会名	目黒区美術館 30 周年コレクション展 ひろがる色と形— 1950-60 年代の抽象表現から + 特集展示 秋岡芳夫全集 5 KAK の仕事— 河 潤之助・金子 至とともに	 コレクション展 展示風景(展示室 A)  秋岡芳夫全集 5 展示風景(展示室 B)
	会 期	2 月 10 日(土)～3 月 18 日(日)(32 日間)	
	観覧料	一般 600(450)円、高大生・65 歳以上 450(350)円、小中生無料	
	入館者数	2,530 人	
	展示概要	当館収集方針に基づく「海外で学んだ画家たちとその作品」「目黒にゆかりの作家」に係る、1950-60 年代の抽象表現に焦点を当てた所蔵作品展とともに、特集展示として秋岡芳夫全集 5 を開催した。 展示室 A では、戦後、人や動物、風景といった具体的なものから離れ、思い切って新たな表現を志向した作家たちの作品を展覧した。50 年代に渡米し、自身の抽象表現をさらに推し進め、日本の伝統に通じる表現に発展させた岡田謙三や猪熊弦一郎のほか、目黒にゆかりの画家・古茂田守介や赤穴宏らのほか、それまでの伝統とは異なる工芸を目指した安原喜明や梶尾宗一など、13 作家 34 作品を紹介した。 展示室 B では、特集展示として、目黒区ゆかりの工業デザイナー・秋岡芳夫と河潤之助・金子至の 3 人が結成した工業デザイングループ KAK による、カメラ、露出計などの光学機器や学研『科学』の付録などの仕事を展示するとともに、三人三様のキャラクターにも光をあてた。 最後に、展示室 C では、「目黒区美術館の 30 年—チラシでたどる展覧会史」を開催、200 回を超える過去の展覧会を振り返った。	
	関連催事	① 大人のための美術カフェ ナビゲーター:加藤絵美(当館学芸員) 開催日:3 月 17 日(土) 参加者:6 人 内容:当館の開館の頃を写真などで振り返った後、展示室にて 30 周年コレクション展のギャラリートークを行った。」	

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品

受け入れなし

(2) 作品貸出

① 3件／3点

伊原宇三郎「カナペの女」

鈴木千久馬「婦人半身」

高島達四郎「少年青帽」

展覧会名：昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 1930 年協会から独立へ

貸出先：北海道立函館美術館、酒田市美術館、北九州市立美術館・分館

会期：[函館]平成 29(2017)年 4 月 8 日～5 月 28 日、[酒田]6 月 3 日～7 月 9 日、[北九州]7 月 14 日～8 月 27 日

貸出期間：平成 29(2017)年 3 月 7 日～9 月 2 日(平成 29 年度の貸出期間)

② 4件／4点

高島野十郎「百合とヴァイオリン」

高島野十郎「牡丹」

木下晋「無 I」

木下晋「無 II」

展覧会名：ニッポンの写実 そっくりの魔力

貸出先：北海道立函館美術館、豊橋市美術博物館、奈良県立美術館

会期：[函館]平成 29(2017)年 6 月 10 日～8 月 20 日、[豊橋]9 月 30 日～11 月 12 日、[奈良]11 月 23 日～平成 30(2018)年 1 月 14 日(各会場で、4 点を前期・後期で展示)

貸出期間：平成 29(2017)年 5 月 31 日～平成 30(2018)年 1 月 19 日

③ 42件／50点

阿部展也「SCRITTURA in BIANCO」

飯田善國「戦争 A—鎮魂歌 思い出す人々」

飯田善國「戦争 B—文明の没落」

池田満寿男「子供の中の風景」

池田満寿男「日光浴する貴婦人たち」

猪熊弦一郎「コンポジション」

今井俊満「新緑」

今井俊満「黒い太陽」

今井俊満「コンポジション」

今井俊満「ゴーゴーガール」

今井俊満「黒猫と少女」

今井俊満「男」

井手宣通「モンマルトル(パリ)」

井手宣通「冬のモンパルナス通り」

瑛九「シグナル A」

岡田謙三「雲と子供」
荻須高德「サンマルタン通り」
木下晋「無-III」
木下晋「旅立ち」
草間彌生「Endless love Room 終わりなき愛」
草間彌生「自己消滅」(版画集)(9点)
工藤哲巳「記憶の独立」
駒井哲郎「夜の中の女」
駒井哲郎「魚又は毒」
駒井哲郎「鎮魂歌」
駒井哲郎「静物」
駒井哲郎「顔(びっくりしている少女)」
菅井汲「風景」
菅井汲「白」
田淵安一「影の通り道」
田淵安一「天の史」
野見山暁治「ジプシーの小屋」
野見山譲治「パリの郊外」
浜口陽三「パリの屋根」
浜口陽三「編み棒」
浜田知明「首」
浜田知明「初年兵哀歌(歩哨)」
浜田知明「風景」
浜田知明「一隅」
浜田知明「地方名士」
星野真吾「喪中の作品(赤)」
元永定正「作品」
展覧会名: 目黒区美術館コレクションによる「戦後日本・発展の光と影」展
貸出先 : リアス・アーク美術館
会 期 : 平成 29(2017)年 7 月 8 日～8 月 27 日
貸出期間 : 平成 29(2017)年 6 月 29 日～8 月 30 日

④ 2 件／2 点

藤田嗣治「シェロン氏像」
藤田嗣治「君代のプロフィール」
展覧会名: レオナール・フジタとモデルたち
貸出先 : 秋田県立美術館
会 期 : 平成 29(2017)年 9 月 9 日～11 月 12 日
貸出期間 : 平成 29(2017)年 8 月 26 日～11 月 24 日
※本展は、平成 28 年度～29 年度にまたがる巡回展である。

⑤ 28 件 75 点

●藤田嗣治作品より

「葉書(澤堅治宛)」(12 点)

「動物群」

「赤毛の女」

「メキシコの少年」

「シャーマン氏像」

「人形を持った少女」

「小鳥と少女」

「接吻」

「静物(糸巻)」

「静物(インク壺)」

「立っている裸婦」

「横たわる裸婦」

「裸婦」

「裸婦と猫」

「帽子をかぶった少女」

「少年像」

「グッバイ・ニューヨーク」

「二匹の猫」

「書簡(フランク・シャーマン宛)」(28 点)[合計便箋 34 枚]

陶器「顔(8 枚組皿)」 「エッフェル塔」 「アダムとイヴ」 「燭台女」 「猫とねずみ」(5 点)

「キス・ミー」(顔)・(全身)

「円形テーブル」

「トランク(遺品)」

「ポスター『時代の証人の画家たち—青春』展」

「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」

「自画像」

「10 人の子どもたち」

展覧会名：「没後 50 年 藤田嗣治 本のしごと」展

貸出先：西宮市大谷記念美術館、ベルナール・ビュフェ美術館、東京富士美術館

会期：[西宮]平成 30(2018)年 1 月 14 日～2 月 25 日／[ビュフェ]平成 30(2018)年 6 月 23 日～10 月 30 日／
[富士]平成 31(2019)年 1 月 19 日～3 月 24 日

貸出期間：[西宮]平成 29(2017)年 12 月 15 日～平成 30(2018)年 3 月 22 日

⑥ 1 件／1 点

中村研一「モレー風景」

展覧会名：没後 50 年中村研一展

貸出先：福岡県立美術館、新居浜市美術館

会期：(福岡)平成 30(2018)年 2 月 3 日～3 月 11 日、(新居浜)4 月下旬～6 月上旬

貸出期間：平成 30(2018)年 1 月 24 日～6 月下旬予定

⑦ 1 件／1 点

青山義雄「母と子」

青山義雄「リュクサンブール公園」

展覧会名： 青山義雄展 きらめく航跡をたどる

貸出先： 横須賀美術館

会期： 平成 30(2018)年 2 月 10 日～4 月 15 日

貸出期間： 平成 30(2018)年 2 月 1 日～4 月 19 日予定

⑧ 1 件／1 点

阿部展也「作品1、WHITE SCRIPT (D)」

阿部展也「SCRITTURA in BIANCO」

展覧会名： 阿部展也—あくなき越境者

貸出先： 広島市現代美術館、新潟市美術館、埼玉県立近代美術館

会期： [広島]平成 30(2018)年 3 月 23 日～5 月 27 日、[新潟]6 月 23 日～8 月 26 日、
[埼玉]9 月 15 日～11 月 4 日

貸出期間： 平成 30(2018)年 3 月 13 日～11 月中旬予定

(3) 資料貸出

① 画材と素材の引き出し博物館(BOX1 画材)より

引出し 8 点

「天然顔料[天平の色—日本画]」／「天然顔料[現代の岩絵具—日本画]」／

「人工顔料[新岩絵具—日本画]」／「絵具[日本画]」／「にかわ」／

「筆[日本画]」／「刷毛[日本画]」／「支持体[日本画]」

展覧会名： 日本美術のスズメ—キーワードと巡るぶらり古画探訪—

貸出先： 群馬県立近代美術館

会期： 平成 29(2017)年 7 月 15 日～8 月 27 日

貸出期間： 平成 29(2017)年 7 月 11 日～9 月 1 日

② 画材と素材の引き出し博物館(BOX1 画材)より

引出し 29 点

「天然顔料[天平の色—日本画]」／「天然顔料[現代の岩絵具—日本画]」／

「人工顔料[新岩絵具—日本画]」／「人工顔料[西洋画]」／「練り剤による色の違い」／

「絵具[日本画]」／「油絵具の昔と今[油彩画]」／「にかわ」／

「絵具[合成樹脂絵具]」／「木炭・コンテ」／「鉛筆」／

「筆の原料」／「筆[日本画]」／「刷毛[日本画]」／「筆[西洋画]」／

「支持体[日本画]」／「支持体[フレスコ画]」／「支持体[テンペラ画]」／

「支持体[油彩画]」／「顔料から絵具へ[西洋画]」

展覧会名： 島根県立美術館コレクション企画展 みんなの美術室」

貸出先： 島根県立美術館

会期： 平成 30(2018)年 1 月 2 日～2 月 5 日

貸出期間： 平成 29(2017)年 12 月 28 日～2 月 8 日

③ 藤田嗣治関係図書資料より

書籍 23 点

展覧会名：「没後 50 年 藤田嗣治 本のしごと」展

貸出先：西宮市大谷記念美術館、ベルナール・ビュフェ美術館、東京富士美術館

会期：[西宮]平成 30(2018)年 1 月 14 日～2 月 25 日、[ビュフェ]平成 30(2018)年 6 月 23 日～10 月 30 日、
[富士]平成 31(2019)年 1 月 19 日～3 月 24 日

貸出期間：[西宮]平成 29(2017)年 12 月 15 日～平成 30(2018)年 3 月 22 日

3 区民ギャラリーの貸出(利用状況については後掲「補足資料3」(79 頁)参照。)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は昨年同様好調であった。

空き状況については従来のホームページでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、めぐる観光まちづくり協会の窓口にチラシを置いていただいた。また、昨年に引き続き新規利用者の開拓を狙い、美術関係学部がある大学に利用案内を送付した。

展示台のクリーニングと塗装を行った。平成 27 年度に展示台の補修と整備を行い、以前に比べ利用しやすくなったが、利用者からは相変わらず重くて出し入れが大変だという意見が多数あるので、これまで同様区への予算要望は行っていく。

利用最終日の搬出が円滑に行えるようチェックリストを作成し、配付することとした。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者数
29年度	570面	5,022,500円 (5,769,750 円)	99.0%	延べ27,817人
28年度	559面	6,125,000円 (5,488,000 円)	95.4%	延べ31,730人

*利用料収納実績の上段は収納日の年度の合計、()内は当該年度の決算数値である。

第2 受託事業(定款第4条第2号)

1 その他の受託事業

めぐろオータムアート

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

(1)	講座名	音楽と美術のワークショップシリーズ第6回 「Life wave, Life sound(ライフウェーブ、ライフサウンド)」 一時の波形を音の波形に	 1 日目  2 日目
	講師	秋岡陽(音楽史／フェリス学院大学 学長) SPREAD 小林弘和、山田春奈(クリエイティブ・ユニット) 斉藤尋己(音楽家)	
	開催日	11 月 12 日(日)、25 日(土) 各日 10:30～18:00 [全 2 日間]	
	実施場所	目黒区美術館、めぐろパーシモンホール小ホール	
	対象・定員	高校生以上 20 名	
	参加者数	14 人	
	内容	パーシモンホールとの合同企画の第 6 回目となるプログラム。今回のテーマは「人生」。1 日目はまず、人気クリエイティブユニット・スプレッドの小林氏と山田氏が講師となり、参加者は自分がこれまで過ごしてきた時間を振り返った。人生の様々な出来事を波型のグラフに表し、さらにメタリックカラーの絵具でキャンバスにも描き出すなどして表現した。途中、音楽史家の秋岡氏による、興味深い音楽の歴史講座を挟み、参加者の取り組みはより深いものとなった。2 日目は、初日に制作した自分の作品の前で自身の人生について発表を行った後、当館からめぐろパーシモンホールへ移動。そこで音楽家の斉藤尋己氏が、初日に書いた波形のグラフを、参加者の選んだフルートやピッコロといった楽器の音に置き換え、電子音によるオーケストラを奏でた。 音楽と美術という異なる領域がそれぞれにもつ魅力を耳と目で感じる充実したプログラムとなった。	
(2)	講座名	目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」	 東京大学駒場キャンパスでの実施風景
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	10 月 21 日(土) 10:00～12:00	
	実施場所	東京大学駒場 I キャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	小学校 4 年生～6 年生とその保護者 2 名 1 組 10 組	
	参加者数	16 人[8 組]	
	内容	近年連続で東京大学を会場に開催し、一昨年度から親子を対象としたプログラムに変更、好評を博してきた。親子双方にとって充足感の高いイベントとなるよう、子ども向けの解説を基本としながら、大人向けの詳細な解説も随時行うよう工夫がなされた。東京大学の歴史的な背景から誕生した建築を、折茂氏の話聞きながらじっくり見ることで、その建築の魅力や意義を	

		再認識する機会となり、親子で建築に親しむことのできる有意義なプログラムとなった。	
(3)	講座名	目黒建築めぐり塾 「『駒場』を『読む』－東京大学Ⅰ・Ⅱキャンパス」	 東京大学駒場キャンパスでの実施風景
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教) 永井達也(建築家)	
	開催日	10月26日(木) 13:30～16:30	
	実施場所	東京大学駒場Ⅰ・Ⅱキャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	10人	
	内容	東京大学教養学部駒場博物館助教の折茂氏、建築家の永井氏が、それぞれの観点から建築の魅力を参加者に詳細に講話した。 駒場Ⅰキャンパスでは、開学当初から今に至るまでの構内の変遷について、歴史的建造物の多い通路や、自然環境を残した外郭を巡りながら話した。広場とそれを取り囲む新しい建物から成るⅡキャンパスでは、現在どのような考え方で整備が進められているかについて、臨場感たっぷりに説明した。清々しい秋空の下、参加者は講師の話に聞き入っていた。	

第3 その他事業(定款第4条第1項第4号、及び第4条第2項)

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展(区民作品展)への協力

絵画、写真、書、手工芸など区民の美術作品を公募展示する区展実行委員会にオブザーバー参加し、事前打合せから会場等の設定・撤去、展覧会の運営、広報等に協力した。

- ・会期:9月20日(水)～10月1日(日)(11日間)
- ・入場者数:3,899人
- ・出品点数:556点

(2) 区内美術4団体への協力

共催事業として区民ギャラリーを活用して各団体の展覧会を開催した。美術館として区報掲載や住区センター・地区サービス事務所へのチラシ配付等広報に協力した。

- ① 目黒区写真美術協会展 協会都合により実施無し
- ② 目黒区書作家協会展 (会期:5月17日(水)～21日(日)、入場者数:393人)
- ③ 目黒区美術家協会展 (会期:6月21日(水)～25日(日)、入場者数:205人)
- ④ 目黒区美芸作家協会展(会期:平成30年3月27日(火)～4月1日(日)、入場者数598人)

(3) 区内等中学校への協力

区内等中学校の職場体験及び職場訪問に協力した。

- ・平成29年7月21日(金) 私立普連土学園中学校(港区)3年生、2人
- ・平成30年1月17日(水)～19日(金) 目黒区立目黒中央中学校2年生、2人
- ・平成30年2月06日(火) 私立トキワ松学園中学校2年生、3人
- ・平成30年2月09日(金) 中野区立中野中学校2年生、6人
- ・平成30年2月16日(金) 目黒区立目黒第七中学校1年生、8人

(4) 視察等の受け入れ

- ・8月16日(水) 公立美術館施設見学、利用・運営状況等について
東海大学工学部建築学科2人

(5) 研修等の受け入れ

- ・5月26日(金) 日本大学通信教育部見学実習13人(うち引率2人)

2 危機管理体制

目黒区美術館消防計画に従い、目黒消防署の指導を得て、震災を想定した職員・受付スタッフ・監視員参加の避難訓練を実施した。また、同じく目黒消防署の指導のもと職員対象のAED講習を行った。

3 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

(1)ミュージアムショップ(通年)での取り組み

- ・取引業者を1社追加した。
- ・商品ラインアップの入れ替えを行い、リピーター利用者の飽きのこない工夫をした。
- ・各展覧会に関連した書籍等を販売し、手数料収入を得た。
- ・展覧会図録については、1年を通してホームページから簡単に申し込み可能な通信販売を実施しており、遠隔地のお客さまには大変好評であった。(電話、FAX申し込みも可)

【ヨーロッパの木の玩具展】

- ・ 期間限定で業者による直接販売を実施し、好評を得た。
- ・ 特に、ドイツ人作家が来日し、作品の製作工程を公開したイベントの際には、作家の直筆サイン入りの作品(商品)の売れ行きが大変良かった。

【日本パステル畫事始め】展

- ・ 図録が大変好評で、合計972冊を売り上げた。
- ・ 竹内鶴之助と矢崎千代二のオリジナルパステルセットをそれぞれ用意し、合計163個を売り上げた。

【開館30周年コレクション展 ひろがる色と形】

- ・ 「過去図録市」(平成23年及び25年度にも開催)を開館30周年に合わせ、300円の特別料金で提供し、これまで300冊程度であった売り上げが、合計659冊売り上げる結果となった。

(2)ラウンジでの取り組み

- ・ 「ヨーロッパの木の玩具展」で、会期限定でスパークリングアップルジュースを販売し、合計280本売り上げた。
- ・ 「日本パステル畫事始め」展では、焼き菓子(マドレーヌ)を会期限定で復活販売したところ大変人気が高く合計398個を売り上げた。

4 ボランティア活動

ボランティア会員101人(平成30年3月31日現在)が、5班(ラウンジ班、トイコレクション班、建築班、広報班、資料整理班)に分かれ、美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ボランティア研修として、9月14日にバスツアーを開催し、ポーラ美術館を見学した。総勢52人の参加となり、27年度、28年度に引き続きバス2台で実施する結果となった。

- ・ ラウンジ班: 展覧会開催期間延べ195日(区展含む)にわたり、ラウンジ運営に協力した。
- ・ トイ・コレクション班: アウトリーチ2回及び「トイの日」2日間、夏のワークショップ恒例のファミリーワークショップ「手からひろがる物語ーつくろう☆木っ端でのりもの」の企画から実施まで精力的に活動した。
- ・ 建築班: 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びめぐろオータムアート事業に協力した。
- ・ 広報班: 展覧会のチラシ、ポスター発送作業に協力した。
- ・ 資料整理班: 展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

平成29年度 展覧会事業実施状況

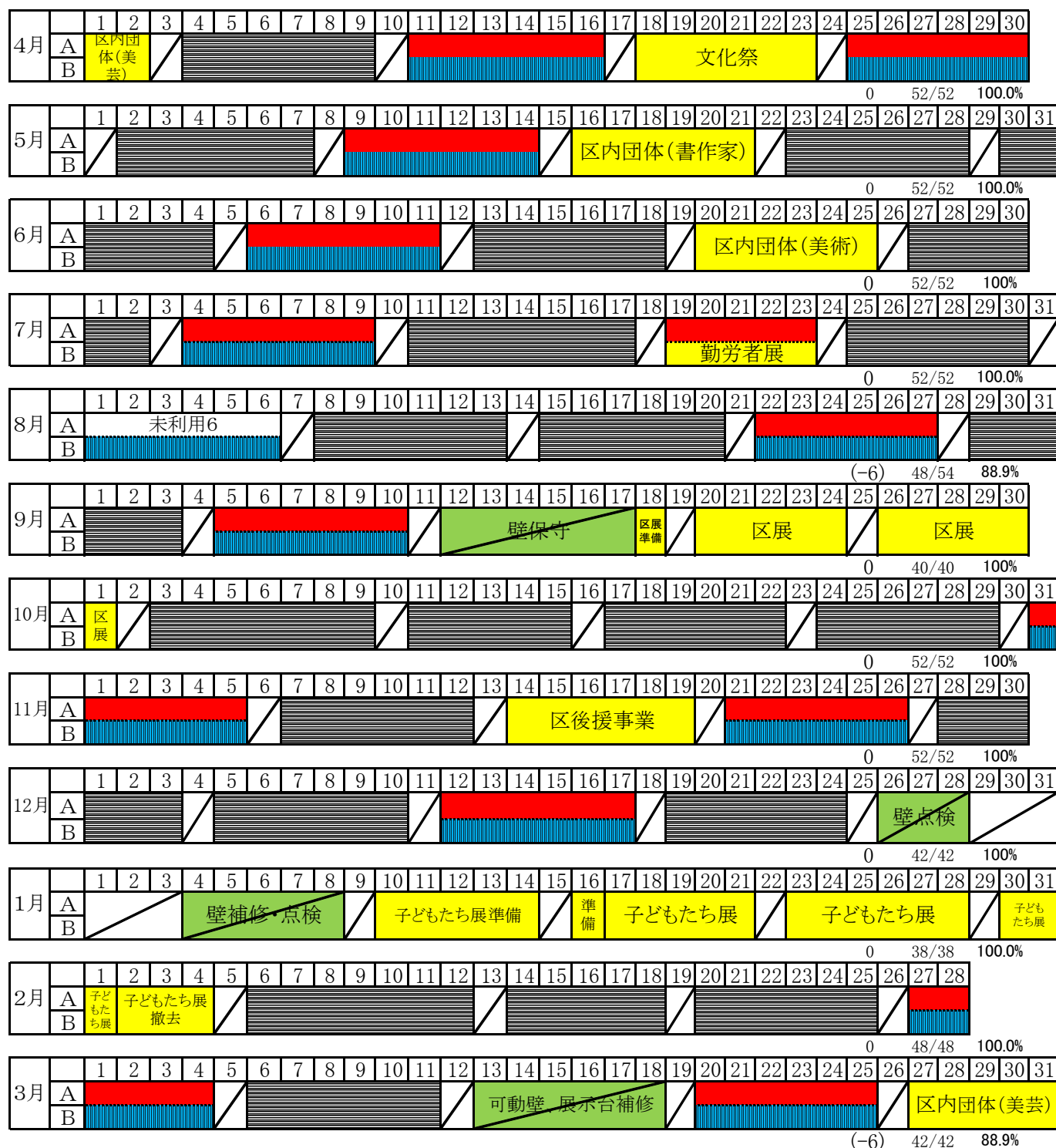
区 分			板倉鼎・須美子展	ヨーロッパの木の玩具	日本パステル畫事始め	めぐろの子どもたち展	コレクション展＋ 秋岡芳全集5	計
会 期	期間		H29.4.8～6.4	H29.7.8～9.3	H29.10.14～11.26	H30.1.17～2.1	H30.2.10～3.18	
	日数	50		50	38	14	32	184
入館者数(人)		目標	8,600	7,400	11,000	10,000	3,000	40,000
		実績	5,943	11,741	8,213	9,117	2,530	37,544
有料			2,857	5,830	4,276	0	877	13,840
一般(下記以外)			1,413	4,562	1,709	0	518	8,202
高校・大学・高齢者			1,444	1,268	2,567	0	359	5,638
無料			3,086	5,911	3,937	9,117	1,653	23,704
招待券			1,873	2,016	2,195	0	844	6,928
ぐるっとパス			1,018	973	1,350	0	625	3,966
幼児・小・中学生			70	2,689	80	0	78	2,917
小学生ギャラリートツアー			0	94	125	2,143	68	2,430
その他(ピリエ会員等)			125	139	187	6,974	38	7,463
入館者割合(%)								
	有料		48.1	49.7	52.1	0.0	34.7	36.9
	無料		51.9	50.3	47.9	100.0	65.3	63.1
1日当たり入館者数(人)			119	235	216	651	79	204
入館料収入(円)			1,999,970	3,780,760	3,636,700	0	475,970	9,893,400
備 考								

*「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数(「めぐろの子どもたち」展については一般入館者数である)

平成29年度 展覧会入館者数等の推移

区分			平成29年度	平成28年度	前年度比較
展覧会事業	事業数		5	5	0
	開館日数		184	190	△ 6
	入館者数 (人)	有料	13,840	22,630	△ 8,790
		無料	23,704	22,877	827
		合計	37,544	45,507	△ 7,963
	観覧料(円)		9,893,400	18,454,450	△ 8,561,050
教育普及事業 (ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ	開催数(回)	7	7	0
		参加者数(人)	153	151	2
	ギャラリーツアー	開催数(回)	6	10	△ 4
		参加者数(人)	384	477	△ 93
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	83	160	△ 77
	トイの日 (29年度は「ヨーロッパ の木の玩具」でプレイ コーナーとして開催)	開催数(回)	47	2	△ 2
		参加者数(人)	2,820	223	2,597
	トイパフォーマンス (29年度事業)	開催数(回)	6	開催なし	6
		参加者数(人)	560		560
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者数(人)	343	311	32
	デザインキャンプ	開催数(回)	1	1	0
		参加者数(人)	7	21	△ 14
	遊びのひろば	開催数(回)	開催なし	2	△ 2
		参加者数(人)		173	△ 173
	ワークショップセミナー 色の博物誌 (28年度事業)	開催数(回)	開催なし	3	△ 3
		参加者数(人)		72	△ 72
	館長美術講座	開催数(回)	3	3	0
		参加者数(人)	159	152	7
	大人のための 美術カフェ	開催数(回)	3	2	1
		参加者数(人)	49	15	34
	合計	開催数(回)	23	28	△ 5
		参加者数(人)	3,839	1,531	2,308

平成29年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



全体 (-6) 570/576 99.0%

凡例

A面のみ利用	B面のみ利用	全面利用
共催、後援事業	保守、補修等	休館日

平成29年度 広報一覧

広報内容	広報手段		件数等		備考	
各 展 覧 会 ・ ワ ー ク シ ョ ッ プ 等	当館ホームページ		493,981件(H29)		全体アクセス数	
			593,854件(H28)			
	めぐろ区報				事業毎	
	区ホームページ				事業毎	
	プレスリリース送付		約300件		各展覧会毎	
	ポスター・チラシ送付		約700件		各展覧会毎	
	JR目黒駅広告看板掲出(有料広告)				通年	
	JR目黒駅周辺案内図「ナビタ」掲出(有料広告)				通年	
	都営バス天吊り広告(有料広告)		1路線		通年	
	新聞掲載(有料広告)	17件	4件		板倉鼎・須美子展	
			4件		ヨーロッパの木の玩具	
			6件		日本パステル画事始め	
			3件		コレクション展	
	ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)				通年	
	フェイスブック広告 (有料広告)	配信 期間	4/20-22,27-29		※MMATの半径20kmの美術館に関心のあるユーザー	板倉鼎・須美子展
			5/11-13		MMATの半径22kmの美術館に関心のあるユーザー	
			5/17-20,24-27		MMATの半径30kmの美術館に関心のあるユーザー	
			7/6-8,13-15,27-29		MMATの半径20kmの20歳以上のユーザー	ヨーロッパの木の玩具
			8/3-5,10-12,17-19			
			8/24-26			
			10/13-11/22		MMATの半径20kmの20歳以上のユーザー	日本パステル画事始め
			11/13-11/19		目黒区のすべてのユーザー	
	11/20-11/26		MMATの半径20kmの20歳以上のユーザー			
	メールマガジン		16件		事業毎	
	ツイッター				事業毎	
	フェイスブック				事業毎	
	インスタグラム				ヨーロッパの木の玩具	
区 民 ギ ャ ラ リ ー 利 用 案 内	当館ホームページ		493,981件(H29)		全体アクセス数	
			593,854件(H28)			
	メールマガジン		1件		空き室発生時	
	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付					
	めぐろ観光まちづくり協会へ空き情報チラシ送付					
区 庁 舎 等 の 広 報	西口ロビーパネル展示		14日間		8.1(火)～14(月)	
	1階食堂近くの掲示板利用		1か所		通年	
	文化・交流課窓口等					
	めぐろ観光まちづくり協会窓口					

※MMAT: 目黒区美術館

2 処務の概要

(1) 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホール の管理に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区美術館の管理 に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区文化ホール の管理の業務に係る 個人情報取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホール の管理に関する基本協定書第17条 (個人情報の保護)に基づく覚書
目黒区美術館の管理 の業務に係る個人情報 取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区美術館の管理 に関する基本協定書第17条(個人 情報の保護)に基づく覚書
目黒区文化ホール の管理運営に関する 年度協定書	平成29年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホール 管理業務の各年度の業務内容及び その実施の対価として支払われる 管理経費を定める協定書
目黒区美術館の管理 運営に関する年度協定書	平成29年4月1日	目黒区長	目黒区美術館 管理業務の各年度の業務内容及び その実施の対価として支払われる 管理経費を定める協定書

(2) 財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議題
第1回	平成29年5月2日	平成28年度決算書の監事への提出
		理事会・評議員会提出議案等の確認について
第2回	平成29年5月25日	平成28年度決算書の監事からの監査報告書の受理
		理事会・評議員会提出議案等の確認について
第3回	平成29年9月21日	理事会・評議員会提出議案等の確認について
		平成30年度区に対する予算要求について
第4回	平成30年1月31日	理事会・評議員会提出議案等の確認について
		平成30年度区に対する予算要求結果について

(3) 理事会・評議員会開催状況

① 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件 名
第1回	平成29年6月2日	議案第1号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び決算（案）
		議案第2号	・平成29年度目黒区文化ホール事業計画の変更（案）
		議案第3号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算（案）
		議案第4号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について（案）
		協議事項	・平成30年度文化ホール及び美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業報告について（5月20日現在）
			・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
			・めぐろ区民キャンパスプラザ天井落下防止対策工事について
書面表決	平成29年6月20日	議案第5号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事長の選定について
		議案第6号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団副理事長の選定について
		議案第7号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選定について
第2回	平成29年10月12日	議案第8号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員の招集について
		協議事項	・平成30年度文化ホール及び美術館の事業計画（原案）
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業報告（9月10日現在）
			・平成28年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	平成30年2月9日	議案第9号	・平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画（案）
		議案第10号	・平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算（案）
		議案第11号	・平成30年度資金調達及び設備投資の見込みについて（案）
		議案第12号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について（案）
		議案第13号	・専決処分した事項の報告及び承認について（給与規程改正）
		議案第14号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団給与規程の一部を改正する規程
		議案第15号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団処務規程の一部を改正する規程
		議案第16号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団就業規則の一部を改正する規則
		議案第17号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団契約職員就業規則の一部を改正する規則
		議案第18号	・文化ホール及び美術館の特定費用準備資金の保有について
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業報告（1月15日現在）
			・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
			・東京都立入検査の実施結果について

② 評議員会

回数	開催等年月日	議案番号等	件 名
第1回	平成29年6月20日 （定時評議員会）	議案第1号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び決算（案）
		議案第2号	・平成29年度目黒区文化ホール事業計画の変更（案）
		議案第3号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算（案）
		議案第4号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について（案）
		協議事項	・平成30年度文化ホール及び美術館の事業計画（素案）について
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業報告について（5月20日現在）
第2回	平成29年10月27日	協議事項	・めぐろ区民キャンパスプラザ天井落下防止対策工事について
			・平成30年度文化ホール及び美術館事業計画（原案）
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業報告（9月10日現在）
第3回	平成30年2月20日	協議事項	・平成28年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
			・平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画（案）
			・平成30年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算（案）
		議案第7号	・平成30年度資金調達及び設備投資の見込み（案）
		報告事項	・平成29年度文化ホール及び美術館事業の実績報告（1月15日現在）
			・東京都立入検査の実施結果について

(4) 評議員・理事・監事名簿

① 評 議 員

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
評議員	新 井 篤 美	早稲田大学招聘研究員
〃	伊 藤 昌 明	目黒信用金庫理事相談役
〃	柏 谷 秀 男	弁護士
〃	柳 屋 隆	エレクトー株式会社代表取締役
〃	塩 田 純 一	新潟市美術館館長
〃	安 原 喜 武	目黒区美芸作家協会会長
〃	井 上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	木 田 左和子	ピアニスト・昭和女子大学非常勤講師
〃	箱 守 栄 一	美術品リスクコンサルタント
〃	牧 野 雅 子	童謡の里めぐろ保存会
〃	橋 本 安 男	目黒区民交響楽団

(平成30年3月31日現在)

② 理 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	清 水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副 理 事 長	山 下 直 純	山下寝具株式会社会長
常 務 理 事	伊 東 桂 美	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長
理 事	遠 藤 幸 子	弁護士
〃	田 中 晴 久	平和祈念展示資料館学芸員
〃	秋 山 光 文	目黒区美術館長
〃	中 屋 早紀子	声楽家（桐朋学園芸術短期大学音楽科講師）
〃	三 木 隆二郎	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構特任研究員
〃	島 崎 忠 宏	めぐろパーシモンホール館長
〃	渡 部 弘	行政経験者

(平成30年3月31日現在)

③ 監 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
監 事	増 秀 夫	税理士
〃	大 竹 勲	行政経験者

(平成30年3月31日現在)